始ご同

分力

く場で開成立を契機さして述太 大脈を中心さする組閣本部の智識 大脈を中心さする組閣本部の智識 は、最後から数方動のの製造情勢

に頼じて一種のトリックを用ひた

◆新内閣成立を契機さして 会に分裂の診機に陥った。 想きれた必至の勢ひである。 はまれた必至の勢ひである。

なき端方會自らの概化であると開かれて奏亦を見た。組像本部の勝利

中心内臓」の一本部であったに反
・ 中心内臓」の一本部であったに反
・ 中心内臓」の一本部であったに反
・ 世上とが感力の世に対したがであったに反
・ 世上とが成大粉に依急を含せ速で

を受けつとあった新内閣が、 迷恋 加へ得たこさは、内閣自性の能が、 迷恋

臣」を選び、ロボット内閣の冷戦工、作以来、相つどいて「事務大工の情」となって、

四

でいたて人間者を三名とする際 には六日夜の吹水館長老総務の職 に作成する歌であるから 自 發展京特電七日發 | 成次する歌であるから 自 發展 | でいたので、ま行動に影響であるから 自 發展 | でいたので

関したい意向を 明瞭であり、床次氏は 明瞭であり、床次氏は

頭の離反の由つて來る處が

政界革新機運

◆繁藤内閣が振っ一世に第二本 を動きも、床大派を聴ってぬる。師 を動きも、床大派を聴っている。師 を動きも、床大派を聴って、又氏 を変し、一世が振って、できる。 を変し、一世が振って、できる。 を変し、一世が振って、できる。 を変し、一世が振っている。 を変し、一世が振って、 を変し、 を変し、

組閣工作の成

観られてある、又望月氏は

百萬

崎

氏がる

あるが結解政友會は飛ど同勢力に 数十名に上るべく昨夜より今晩に 数十名に上るべく昨夜より今晩に

表した

はを送らず

々非々で進む

政友、岡田大将に通告

歴中であつたが、いよいよ政友三し、跳黙よりの入職者について考。

なほ岡田大将は

裁を食見し、念

| 「大学の関係を表現である。 これるもので見られるが、こしてあるから組閣は変外の気に跳灰三名のして町田、川崎(野吉) 研修(野吉) 研修の場にが、こしてあるから組閣は変外ののでは、これのもので見られる

政黨出身

大臣を希望せず

東鐵主任級の主張

會では長老金

では 一部に 同田大称を訪問、 政大会さし が 鈴木想 親は 七日午前九時組閣本

果になりはせぬかさ

床次竹二郎氏

秋田

議士相當

製脱黨

山崎達之輔氏

財きれてゐる、耐らて味次氏が迷った。 を含から眠れるこさになるさ悪兒 島縣選出代議士をはじめ相當数の 代議士が行跡を共にする事になら できず、唯床次氏が発さ無をもの意

『東京七日養國通』鑑賞鑑業賞は「が、東鑑管内主伝經よ協議の結果 を醸成しなり、今回の岡田大将の「宝の意見を取扱りた」を希望せずを軽成しなり、今回の岡田大将の「宝の意見を取扱りが議の結果

場一致係級した

がれた球気を報告し満 一性彩を報告し満 一性彩を報告し満 で、七日午前十 の水鑑を報告し満 を表を報告し満

勝り整機館が五分にして齢去した を非々主義で進む事さなつた旨を

閣親

政友會の

分裂と

取然岡田內閣

蚁友會分裂必至

東京特電七日發」紫珠繁於激に重大観響を来

5

【東京特電七日發】 停頓した岡田大將の組閣は政友會の分裂を犠牲として七日朝左の如き顏觸れを內定し、午後

貴族院代表は1

人閣せず

され、結局政友會三、民政黨二の割當となり政黨尊重の色彩が多分であるのと、貴族院の會派代閣員名簿を捧呈し、親任式行はせらるく豫定である、卽ち六日文相に豫定された松浦氏は政黨關

体の都合上

變更され、

者のない

ことが注目され

文司大海陸內外內閣 部法藏軍軍務務總 大大大大大大大大 臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣

銑十

信(新大官)

內閣書記官

田

烈 茨前拓格 官

爬局

生命

文弘啓

毅介羅

夫 (前農田) 即

拓鐵遞商農

長臣臣臣臣臣

河岡床秋川町

田次田崎田

介郎清吉治 棄 政新政新民新民新

用印

民政に協力要談

閣員割當の は無かつた 若槻總裁語る

の郷語代が二十個消後、その他日ザツミ三国、官邸警戒の警官

田内閣の顔觸内

政友三、民政二

0

割當となり

を訴問、鈴木政友會總裁より入聯 日午前十時十五分者處民政黨總裁 と訴問、鈴木政友會總裁より入聯

銀は岡田大将さ會見後語る

岡田大將若槻氏訪問

地震していい、 はないのながりを表りを表して、 にはないでは、 はないのないのは、 はないのないのは、 はないのは、 はないのは

暗に漕り飲めね」

が一連十三、四圓、食養が一日、藤平ホテルの部屋代十圓、緑田 に達しやう」 もなんで四百個な

は政策だけではないらしい の組閣準備に較べるさ、お話に

会してごうしても一日二百圓の合してごうして来たが。これが底々不 脚遊して来たが。これが底々不 足を来しさうだ 足を来しさうだ。 との動見で跳策は未だ持合せな

名で、まさして左の二案件に開む「物議が行はれる」

93歳さいふ所だ ならのチッポケなもので提がに ならのチッポケなもので提がに かった。お話に

の態度協議

この外中央部より提出の一、兒童衛生(文教部)一、規煙(専賣公署) 地方的醫藥班及に關する對策 (質業部)

木派は脱黨防止謀議

千歳丸 八日午後二時大連

等も一時過ぎ伸聞入 次系の重新山崎、内 次系の重新山崎、内

扶桑丸 八日午前九時三十

常務)七日午

長)七日出帆の泰天丸で上海へ深谷篠郎氏(天理教満洲傳道廳

安藤正純氏その

角

岡田大將今

度鈴木總裁訪問

するこ見られるが、こしてゐるから組閣は案外早く完成れるであらう なるが多分床文、由疇、秋田の三次の為に跋友三名のして町田、川崎(皇古)柳氏に内定れるであらう してぬるから組閣は案外早く完成れるである。これるから組閣は案外早く完成 質が分裂しからつた。 内閣が継まりからつたら、

せば斷然引拔

機會が来たら別れるもよからう。 定文、飽までも乗るつもり。

ち立往生き御座いる。 に因んで政憲憲さ名乗るか。 「お你みなさいまし」

流行病の注意、 0 取り附く島もなく、白い手を突 取り附く島もなく、白い手を突

親任式に關し號外を發行しま

「白狀するか」

臨過費撒き

と、無言のまゝ、後を追って來た を表情が、 と、無言のまゝ、後を追って來た

岩のやうな腕に掛けた。 「私、朧さも膨いこさなんかしやなした相手だ」 「相手つて?」

「嘘を吐け」 を取り出して、かなるの目の前手を放した惣兵衛が、懐から電



幟 場互染内代

幕

司 大連市信農町市場C電話四四五七番) 大連市信農町市場C電話四四五七番)

印物一式 お子様がよろこ ピクター 0

おむすびころりん音楽音供 ズイズイズッコロ橋い かね えや 0 (音傳が各層に三体づっちって) 工芸、両た、きさ し、からくり 本多信子 本多信子 本多信子 E U 中山場代子 本平 多井 信英 子子

くまあ、一機識がこんな電報を打っ へひょつさす かかからは

もて脚を食ひらばつた。 のと共に、物兵衛は恐ろらい離を 「苦しい。あなた、手だけ 放法し 小羅倉紗 **食料品**專門。 洋菓子 洋 B型モートカメラ (殖標地) のれ 厚司ヱリ 宣傳機 モートカメラ活躍の時が来ました 直輸入元 際 オリアンタル 電話長四二五三番 大連市浪速野ハロ 話株式會計 號簿ノ配本ハ本年八月末日 (下3.5レンズ付) 9 0 園 人型モートカメラ 150圓 平山美代子 松本 俊 枝 平山、高山 430呎3卷入..... 5圓30錢より各種あります

一百圓の

旦

國境線赤軍 漸次平靜

電流 大平静化 こつ、あり、なほ去で変があった。 で変が、はよるさ去る一日、五日を期でよるさ去る一日、五日を期でよるさ去る一日、五日を期でよるで発し続を越して一つ、あり、なほ去る三日、四日に取り北美のラブで 「いつ師つてららつたの?」 ギヤング

CID

親類が一千圓調達

た通じ凡そ六国、暑い~~さ

全滿衛生會議 「どうなすつたのよかなだ?」 「御用つての、旨く運んだの?」

かからは手足を願きながら鳴い そのまま、松のさころへ持つて 抑へ附けなが

がはだけ、白い乳房が剝き出しに

かかかは、迷へる羊のやうに続 惣兵衛は、それにも答へなかつ一府で何かしてゐた?」 「俺が知らないで思って、貴様別

小島政二郎 田事太郎 (50)

てゐた。
「「神残なさい」
「この人非人め」
「この人非人の関係など、
「この人非人の関係など、
「この人非人の関係など、
「この人非人の関係など、
「この人非人の関係など、
「この人非人の関係など、
「この人非人の」
「この人に、「この人に、「この人に、「この人に、「この人に、」
「この人に、「この人に、「この人に、「この人に、」
「この人に、「この人に、「この人に、」
「この人に、「この人に、」
「この人に、」
「この人に、「この人に、」
「この人に、」
「この人

內日 間便用雷

話番號ヲ相互ニ知リ合フコトガ必要デア 病過シ引續キ本邦・滿洲間モ開通致シマ 去ル六月二十日ヨリ内地・臺灣間無線電 去ル六月二十日ヨリ内地・臺灣間無線電

%七夕まつり

童心ゆかしき夢の世界

四十分大連数年 は四十年の 総空郵便を京機 欄上にきしかいつた際、右音脈の工民候不良の為 の鑑泉城沿りこなつたので同便に 京城局向け疾走中同四十分筑域

日

PMG

そのまゝのましたのですがまだのよう既にた人、小見用に應じもう既にた人、小見用に應じもう既にないてすが私共にいた人。

結果と断じ難い

全國學生軍を

邀撃する全滿軍

新進選士を以て編成

一名は職器神事基高廣三郎氏監督の関撃生職監委道戦の構能なイぐった。全國學生職監委道戦一行五敗九名、合計三十四数十四名、三段八名、合計三十四数十四名、三段八名、合計三十四数十四名、三数十四数十四名、三数 常原治一、性野政信爾六段引擎 も単級信頼六段引率の 十五日柔道爭覇戰

を選び先づ

にて加黎中であるが生命には別條

なる 満人 な通行人が 安見 聖徳 部屋 出所に属け出たが 被視の結果山東出所に属け出たが 被視の結果山東

列車顛覆計畫に

於いて会議洲軍さ一 列車の低級を記載中であったが同したが満洲回軍のため緊張され版。は繁成中であるした、成木十数本を取りはづして、入って約四百の興販が五常に観水 に興販が観水し、戦五獣に興味観水し電柱数本さと、財師を塗しなかったので同日夜に して選走したが、電子特體七日整 五日午後流流 総は水雲のため発車べ通さなって 関い発生三さん。

拉濱線五常に匪賊團

道院し三十尺極いきずり満人を加いますり満人を加います。

が整徳町二丁目高井孝一外一 七久保正登(また)連帳のサイドカ日午後五時頃沙河口、大正通二

明大校友會

3

は

店

午後一時から 女梅坊主舞踊

職来したので目下五常で したが六日東に五常附近 で

更に自転車の南人と朦朧遊を起し

焼失を発る

天気予報

商品

六日日 高日

二割弓

四日面

割

百大

襲擊

れが数表あった、代表選士名

列車の観弦を記載中であつたが同

大連發航空郵便

#画札焼となる

飛行場から京城局へ運送途中

空前の

大連イワギ町

煙草の吸殼混入か

腹痛で缺席

かつたかき疑ばれてゐる 數名の生徒

いて豫防遊戲

でてない分には特美機質の者には胃中でさけて反應を起す場合がある。それが原因さは云へないが若し錠側に缺點があるさするならそんな萬一の場合が生じたのではないか

の三日に重つて注意通り服飾した

1 三年級の級長を動めてゐる程で性

眠つて自殺失敗

自動車修繕工救はる

した母親マッさん

入院したが六日午前二時死亡した

豫防劑服用の

もた、小様音は壁検の成織もよく もちしてあた(寫真は平一君)に明かに赤炯般既かい上原かな妻 あきちめてゐますと悲しい 吐息 生花師匠なしてゐるが選が悪い

息と

貧困を

嘆いて

苦力・丘上で縊死

上て絵死をさげて

羽一月七

御工樣一二二銭之二円二割引

食放題 (酒は新平白雲)

御 人 機 二 円 三 十 銭

飲放題に限り二十銭)

·五人樣以上·

知りに一ル一本は 後以上・五人 様以上・

場所に於ては鶏、鶏卵は安置であるさ信ごて來ました、内地では黒鷺上等にして という。 という。 は別に於ては寒鳥が帯洲人に委せきりにしてあるから品質粗悪にして高質である は一葉鳥の森なる為である、東京は銀座、大阪、京都は目拔の場所にて離鶏一匹三 は紫鳥の森なる為である。東京は銀座、大阪、京都は目拔の場所にて離鶏一匹三 は紫鳥の森なる為である。東京は銀座、大阪、京都は目拔の場所にて離鶏一匹三 は紫鳥の森なる為である。東京は銀座、大阪、京都は目拔の場所にて離鶏一匹三 は紫鳥の森なるは、満洲が高くて内地が安いのは不川麓に黒はれるが、その理由 本の上値段も安い、満洲が高くて内地が安いのは不川麓に黒はれるが、その理由 本の上値段も安い、満洲が高くて内地が安いのは不川麓に黒頂上等にして は、黒卵は安置であるさ信ごて來ました、内地では黒頂上等にして は、黒卵に放っておりなる。

すき焼

凉しき會席

製劑者大野醫學士談

遺に不完全な處があったのではな てこの鎌崎舞のためこだ。管て山口野 圏の殺菌が不完全なため

特異體質の **刺線防劑は昨年作った声が削の赤痢菌は總て殺す** 者には反應 加藤技師語る

溫順な優等生

月

生です、

使用に便なため既に滿皺衛

七 年

Som 中級にて製作に着手せる赤刺染は 東線では本年の赤刺流行に際して昨年

本年始めての試みさして管

小學校生徒約三萬人に配

養してゐる者もあり、強

るが、なほ五、六名は下郷して自宅に療 夫君(*)は重態で大連醫院に入院中であ

南山麓小學校三年生池上仁君(こ)同弟又番地小桃平一君(こ)に六日午前二時死亡

一流の覚察に努めてゐる 「なみでする計畫を立てたがソ戦師は之 洋十二元と藩廟三枚を強奪逃走 をチャンスに自國盟のアイルムな をチャンスに自國盟のアイルムな をチャンスに自國盟のアイルムな をチャンスに自國盟のアイルムな をア響では三浦司法主任以下總動

伊藤、桃 (志) 横 (趣) 等井、投簾

犠牲者の小林平一君

紫江大)瀬野、田中(稲)田中(禾)三原。 瀬動喜 と継継・・一家郷郡・一家郷郡・一家郷郡・一家郷郡・一家郷郡・一の田場番は在連OB 接戦像想せられ

一般事須取丸大夫鹿児島繁生れ良 一般事須取丸大夫鹿児島繁生れ良 一般事須取丸大夫鹿児島繁生れ良 野町(1)1六日 対験同艦程炭夫植 野地等で遊興、波麟の場句째人 度は治まつて降船

長い梅雨の天氣

何れも恭十字病院に擔ぎ込まれた

上手御覧下さいませ と、カットグラスを御選擇の際 は弊店の品質と種類の豊富さを は弊店の品質と種類の豊富さを

取揃へて御座います

最も近代的な贈答品 カツトグラス

陸上黙養名の士出場し大いに若返 避、西本、職業、職元等もご日本 全種目に出場せんここて居るので 立上、小手川、三隅、八重樫、渡 或は破丸風態等に重きなおき会員 が上、小手川、三隅、八重樫、渡 或は破丸風態等に重きなおき会員

一つて戦ぶさいふのであるが何分老と、 西本、 職業、職元等もさ日本

船へ持越した

料理屋での喧嘩

火夫、石炭夫を刺す

其他水物玩具・砂遊道具・花火等豐富に取揃へて居

御贈答品賣出

電話四三七九・七五四三

あすの大連陸上選手權大會

〇 B連も 若返り競技

來戦を目ざし 流選手連が接戦

質品の正が

糖師低の像定

巡回列車を

利用宣傳

ソ聯一流の計

間による市民の軍警監督による市民の軍警監督

流習のため延引して

强盜頻

當局・檢擧に大會

奉天に再び

(二)

れ・學童が

の豫防劑

服用者に赤痢患者

石が續出

殺菌不完全の爲か

直八さ高津のおなつ)

脱炭は高津髪子、

人者の長谷川伸成修、機域情監督の子の直入も女房の前に寮は持たない……

直八子供旅

行けば鍵に不自由のない和泉 表理さ人情を描いては第一

して振り向いた一同の

一江戸さの間にやア、化物は居れえっちのものよ。 箱根から向う、おうこ

「ナアニ、如何に腕が立てばさて やわる」

言葉で威要つて見せた時だ。

松竹、日活の二番線が現れた、め 市内六龍は全部日本映画の上映館 なり、外國映画ファンを兼しから なり、外國映画ファンを兼しから なり、外國映画ファンを兼しから

河口電供楽部において催了客

□○ 漫画部

納凉淨瑠璃會

市内各映書館は

混合プ

D

東和商事系統、メトロ、パ社の

優秀映畵を續々上映

满

行者だつたから、いゝやうなも、さのここぢャーこの字準谷帳で出合ったのは、 さへ、すくなからの人命を失つたこの字準谷帳で出合ったのは、 さへ、すくなからの人命を失つた

さ書き加へられてゐた。

サ 杉の老木……その桜の木の絵に倫 りかトつて、ニャー(紫のてこつ ちを見てゐる、片眼片腕の立ち姿 ででですれば終ー・ 出たんです 膳 忘

仕立券付

ワイシャツ生地を

お勸め申上げます

御中元御贈答用さして

がに選入って、足並み揃へて一種に歩いてるた。 質量が、この時見事に動はれた際田家面代の、松の下鷹の総あ

で途中でしたが、ゲ方、鬼子の徹 製ふ夕間に、離も気が付かなかつ の総在。

水 日イグソー エンゲイ 加茂林長二郎 研りを描い丹下左腰……。 関の裏さなだれようさ、関道に

來滿に決定 花岡菊子外女優二名を伴ひ 來る十五日大連上陸



回名



博多ネクタワイシャツ、 クタ ワイシャツ生地 大連市伊勢町一〇二一一〇番

答

用

品品

御

は

行

貰つた方の やらせて頂き 御意のましに

この健康美の うれしさを 誰が知る・・・ 頭痛 No.291

0 御中越次第カタログ郵送祭・子用透明紙袋 セロファン

おもるのない。 なでこ

分氣いしら晴素るよにンタスエウ機名 !氣圍雾るた然渾!び喜のンアフ級高

高血

壓の危險

L

然好

返金返品

自由の

0

補來ま

大るべるが

最も質質的な クレープ・麻 肌 衣

見るからに清新小豐かな お句心地極めて爽や かな肌衣は、いづれも弊店の特選になる優良品 ばかりてございますから、何方様にも割ざれ中 元の街進物にはさりわけお恰好なものさ存じま す、クレーブ、ポイル、麻、絹等下記の数十種な **満澤に取揃へ特質**を以て提供申上げます。

五斯製 一枚 六十錢以上……二 圓內外迄 一組 一圓中以上……四 圓內外迄 麻 製 一枚 一圓中以上……四 圓內外迄 組 三 圓以上……八 圓內外迄



打七十錢•八十錢•

受けて重實な 贈るに便利 洋行の商品券

中元の御進物には

ハンカチーフ

夏の御進物用さして優良なハンカチーフが一番 お恰好かさ存じます。全く一年中か通じてハン カチーフ程簡便で質用向の御進物品はございま すまい、浪華洋行には英國産や解、スイス聚の エンプロイダーを施した美しい婦人用等糟鼓の よい例入にて牛打入、一打入のものな豊富に取 揃へて居ります。

一個五十錢。二 例。二個五十錢 三 例。四 回。五 间 七十五錢。九十五錢。一個五十錢 一圓九十錢。二圓六十錢。二圓九十錢 三 圓。四 圓。五 圓 七 圓。八 圓。十 圓

出



五日一航で日東丸就航

豆粕積出問題

來春操業開始

神戸荷主より要求

滿鐵社債四千萬圓

文に現在常市市況を見るに安備ー ながら欠方振りの輸入を見せた、 ながら欠方振りの輸入を見せた、 では上海粉も十萬袋の催少

るかも知れぬ。(高松生)

募債交涉進捗

四分利の好條件成功か

賣行頗る好望

下期財界の實勢がトされる

間にその存否性を論叢され、何れはかうもあらうかさ強期されて居た問題だけに一般は大心たで動動も受けて居ないやうだ、それに異存もないやうだ、それに異存もないやうだ、常年局地に異ならないて真剣にその昇格

るが、その外地事務中にも満洲 その重要性な増大した結果であ その重要性な増大した結果であ であるが、その外地事務の擴大につれて、傾に

拓務省の廢止

事であったとは一般の認識

不同意者はあるか

問題は新内閣成立直後の重要な流れにはやはり變散改論も除儀

前提なりこの報道は直接の管下

愈よ大汽で經營

の必要さな痛感せしむるものあ つたに鑑み、敢然さして同省存 る態度を執るや観る法性されるさ で、場合によつては緊急役員 で、場合によっては緊急役員 を表示し、途に拓務省を存績 を財産を財産のは、日本 ころで、場合によっては緊急役員 で、場合によっては緊急役員 で、場合によっては緊急役員 の必要さな痛感せしむるものあ 全国の
「一般でを執るや観る法性されるさ を影像を表示し、途に拓務省を存績 かれない模様である

過去の歴史から注目されてる

都市計畫 省縣公署と協力

大阪滿蒙輸組 駐在所設置中止

市場委員會招集

北安鎭を見る

元回見本市前況

方經濟事情

金利引下と滿洲金融界

七月號發行(大連外

定價二

日

滿鐵の中堅社員(そのこ)

軍長 八五四〇苗

東京 中央市場の 東京 中 東

拓務省廢止問題と 連商議態度

→神户屋株式店

が記憶を中止することになったが記憶を中止することになった。 豆混保取扱

な。 ななごは正しく昨今の金融界なるなごは正しく昨今の金融界なるなごは正しく昨今の金融界な ででするものだ、この調子で行 で映するものだ、この調子で行 で映するものだ、この調子で行 で映するものだ、この調子で行

2000 1110型 1110U 1100U 1100U

五品保 鈔幣對(現物 10

定期喰合高(六日)

金 空を飛ぶ狼 選に死去致しましたが七月レ 長男平 一議急病にて 八日封切 た月七日 原 駒子:主演 回

六月中輸入麥粉 濠洲粉優勢

張し球治問題に利用せん 変施により日本品の輸入 上海市融資が先録さなり 上海市融資が先録さなり 大野であるが、支那の新聞税

前七時二十分養殖車にて鰤連した特産整盤本田際長等一行は七日午特産整盤本田際長等一行は七日午 好恐、下引受

九九九八四元 九八二元元 九八二元元 七 六二二七

上海(高大日本円17)

「上海で高大日本円17)

「上海で高大日本円17)

「上海で日養」銀塊及英米クロス
安の為め標金上寄、為替は一齊に
場かりとも花旅銀行には弗の賣物
おりて強含みさなる後閑散、園は
日本銀行筋一一四、二分の一ペス
八月物一一四、八分の五まで賣つ
た北方筋一一四、一分の五まで賣つ
た北方筋一一四、一分の五まで賣っ
た北方筋一一四、一分の五まで賣っ
た北方筋一一四、一分の五まで賣っ 外科於嚴紹 澤醫院

X 整形外科

海標金

必利で 體裁の良い 商品 券發行料品の職入廟話大勉強 ール各種一打化粧函入二打入四打入其他季 化粧南入二打入四打入其他素が レン 一打 化 粧 繩縛 一四打入 一兩 四日 一打入化粧函

三河屋の實用品にお定め下さい 三河屋の實用品にお定め下さい 大 製 冷 変 二貫五百八一函 四個 一貫タス化粧函 一四

代表長五四大番

都市建設事業費

賣市場につ

要する大統織工場を完成 、最近ソ職では外蒙に 、最近ソ職では外蒙に 、最近ソ職では外蒙に 績工場建設 聯の外蒙工業

一、二を除き全部出揃ふ

北滿 作物不良

【新京特電七日藝】財政部では昨年十一月九日銀行法施行以來同法 整幹の感謝を推測さて來た結果。 後班製香に對と銀行法に軽談して であったもの、又は外國銀行行に輸向するもの、又は外國銀行 であったものが獨立して內 であったものが獨立して內

(株)に銀行法第二十一條に規定する (株)の徹底能解説され識手織の指 法令の徹底能解説され識手織の指 (ま)の徹底能解説され識手織の指

大豆昻啖 豆昻騰

品

老業立以 取引所創 申込送呈報次營業案内

は珍しく旺盛で一年中通じて輸入 は珍しく旺盛で一年中通じて輸入 は珍しく旺盛で一年中通じて輸入

報告を要求

東廳から市

東京株式

紡績工場建設

海運聯合會から

課税の均衡を要求

を要が、大連なごでも この程明に人な調子で素人間の この程明に人な調子で素人間の この程明に人な調子で素人間の この程明に人な調子で素人間の であったなってやつさ歌んだや うだ、そしてこれに手をつけた 大抵な連中は何れも様常の編手 を受けてる、同じく大連の織を を受けてる、同じく大連の織を を受けてる、同じく大連の織を

况全

見常先物は三十七銭見當てあつた物は三十七銭三厘質三十七銭一厘商筋の實情みのため氣配聢りて現商筋の實情みのため氣配聢りて現の大い気配・

が 有御中越次第、無料送皇 有御中越次第、無料送皇 が須参考書株の知識 ・ が須参考書株の知識

野物產原

というである。 は対象な事となった、著しその成績 というでは、対象を関係して、 はいでは、対象を関係して、 というでは、 というでは、 というでは、 というできる。 とのなる。 とのな。 とのな。

同がーレン島より原油三 波斯灣よ

第二回神戸日本

大阪棉花

阳

員顏觸決定



田新 閣

魯〇大連大座口參屬

依賴する方針

入閣經緯

松田文部、町田徹式さ決定したのしたさころ松田氏は快速し、数に

反岡田

の艦隊派

を来めた
を来めた

松田町田兩氏

と監視の鎌定者を變更するに至つしあり、廃次氏は七日午後八時四十に総解を行つたため感、民國派されてが、職用大将は残田氏に能色無よりの人際者に就いて最も入怠の外、秋田、山崎剛氏の鎌定であた。東京四日登國通』間田大將は政 た、廃次派よりの入際者は廃次氏 MKの 東京の 東京であ 大閣者は 床次氏 大閣者は 床次氏

で、歌文その駅を増大し、照に六 大陸に繋外小範囲を襲想さるとが、 変は繋外小範囲を襲想さるとが、 変は繋外小範囲を襲想さるとが、 変は繋外小範囲を襲想さるとが、 で、歌文会切り崩しを行つてぬるので分響程 で、歌文をの駅を増大し、照に六

町田商相好評

不氣味な沈默

東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る整雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る複雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る複雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る複雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る複雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン東京特電七日襲』政友會の入閣、内懐が観る複雑で剛田大粉が大命、注視してゐるが、剛田大粉なロン 今後の成行注目さる

本 大 七十名の同志を得たりを解してる。 執れにしても歌欄に近づく一までもなく、驚内に居愛つて 工作を顕行する る、即ち我黨は並に閣僚な送ら であこさな聲明するさ共に我黨 衛自の見地において國運の進展 に貢献せんさす

東京七日養國通 駅日米園 第一時外移宿 2 に殿田外根を訪問 4 に殿田外根を訪問 7 に殿田外根を訪問 5 新内閣も萬邦協和 7 にさに舞し新内閣も萬邦協和 7 にさに舞し新内閣も萬邦協和 7 にさい 8 できるものさし 7 大大け關係の増進に裏近しい譯である今後さも 4 の では、 2 できる 8 でき

部訪問 河田氏政友本

発れないさ

東京七日發國通』鈴木總裁の入 絕緣一段落

使の眼出に野し 会然同意を表明する。 を変をアップ・シエートする旨を 外突をアップ・シエートする旨を るさころあつたい

閣僚身許調查

決定直前入替へ事情

正徳林の目的は高梁家茂期を目 前に東北革命軍を組織して聯よ が各連城頭目はソ聯の援助雅 るが各連城頭目はソ聯の援助雅 るでも見透しなつけ参加するもの して見透しなつけ参加するもの

五常包圍匪團 撃退さる

絕緣回答承認

十一時四十分美如約百名の無側江 十一時四十分美如約百名の無側江 五蓋膨緩を包圍攻撃し、南門を破 が第〇〇記令官佐藤平縣官等前に 建つたが日南軍のため金磯修計製 た受け撃退された、なほ悪郷は電 たで、なほ悪郷は電 たで、なほ悪郷は電

本社見學(七日) 校長

中だけを対する 本球点が関する 本球点がする 本球点がする 本球点がする 本球点がない。 一つたのは軟作 本様がは本来南洋 を構成だけの監督者で朝戦、薬域にい存在であった。 中だけを外地の監督者の中方なが、薬域にい存在であった。 中だけを発音で朝戦、薬域に があるには事務能速上却で の出た人物が が、古いなった

五十代が殖にた

岡田新內閣々僚年齡調べ

展くも皇帝陛下には最近のサル 関を選がる例下賜金の趣電送せて、丁士・ がアドル暴風罹災者敷助の為例 がアドル暴風罹災者敷助の為例 が、永劫消ゆるなきサ國の感謝 り、永劫消ゆるなきサ國の感謝 り、永劫消ゆるなきサ國の感謝 して、 の者金を御下賜金の趣電送せて、丁士・ には、 では、 の者金を御下賜金の趣電送せて、 の者金を御下賜金の趣電送せて、 のもしこさな のもしこさな のもしこさな のもしこさな のもしこさな のもした。 たして一切をカバーするさ

第五面に「滿日漫 本日本紙十二

内に最も職以來の儼 ◆藤井蔵相が高橋老の傀儡であ

配の

かったでしない。 こあつては、想はの趣味を揺くて を駆いかさいふこ は密刺たる本色を示すに違いない を駆いかさいふこ は密刺たる本色を示すに違いない で中間内閣たるの立場を高れて想い で中間内閣たるの立場を高れて想い で中間内閣たるの立場を高れて想い で中間内閣にあるの立場を高れて想い で中間内閣にあるの立場を高れて想い で中間内閣にあるの立場を高れて想い で中間内閣にあるが、というでは、というである。 は凡そ縁遠し

學國

新内閣は少野内閣を標榜したがはあって前内閣は少野内閣に此して大臣の年齢が題だ者い、野族子七十七と揃ってあたものが著内閣は町田忠治氏ものが著内閣は町田忠治氏ものが著内閣は町田忠治氏

で五十代が増加してるる町田商相七十二、岸大瀬田文相六十九、岡田首相六十九、川田首相六十九、小原法相五十九、小原法相五十九、小原法相五十七、山崎農相田外相五十七、山崎農相五十七、山崎農相五十一、藤井徹後藤内相五十一、藤井徹

を記したからを要素をであるが最近であるが、 一般ないでは、 一をないでは、 一ないでは、 一ないで

米大使廣田

外相訪問

れ全人

《東京特電七日發》 再三變更を加 結局八日午前十 へて 閣の陣容は七日 時半宮中に いて親任式を行はせらる

左の如き最後的確定を見た

遂に同夜は閣員名簿を

內紅惡性化

入閣者を入念に銓衡

けふ午前一十二行はせらる

治直生

制局 長書記官

沼崎田田田

監官長臣臣臣臣臣臣

黑河岡內床町山

友任 友任 政任 友任

氏の除籍處分當分預り

離黨者縮減に腐心

機に瀕

す

入閣派脱黨せず

黨内から援閣の申合

及前内閣以来試験滑みの中堅有力 、株に融産物さして球友會の った、株に融産物さして球友會の った、株に融産物さして球友會の が表現で指へた事は大出来であ

の議員總會は床次派を除く約二

概削職権は語る 「東京七日養國通」 これの 大物から

高橋前蔵相の談 高橋前蔵相の談 高に、(高真は岡田氏左さ高橋 職合協議会の経過報告後等本継報 つてい(高真は岡田氏左さ高橋 職合協議会の経過報告後等本継報 の概認に依るその通響を無にした 電標子上段を整直 10年 に設定した を記さは國民の信頼を繋ぐ所以 若常就事長より入職突滅に職する の概認に依るその通響を無にした を認識をし流場所もの通響を無にした を認識をし流場が表現で、間にした を認識をし流場が表現で、 を記述を表の後 の概認に依るその通響を無にした を認識をした。 を認識をした。 を記述を表の後 の表現に の表現に を記述を表の後 の表現と のまれと のまれと

に復歸するここな念願さ聞田さんが飽くまで憲故聞田さんが飽くまで憲故

裁の

一方入閣派は除

憲政常道復歸

岡田新首相も念願してゐる。

會見後高橋前藏相の談

日滿經濟統制根本策の確立

【東京七日養國通】鈴木總裁は七日年前十一時半岡田内閣に閣僚を 対下内外の情勢は墨國一致を要 水するここ未だ曾て今日より急 本するここ未だ曾で今日より急 鈴木總裁聲明

なるはなら、荷も國政の重責を代表する政黨の協力に使ってき代表する政黨の協力に使ってき代表する政黨の協力に使ってき、然るに関田大将の組織せんとする内閣はその組織の方針に於いて之を輕視し、その組織の方針に於いて之を聴視し、 職職電が昨六日銀行となるとのから のではながサルゲアドル映風に際 がにはながサルゲアドル映風に際 がにはながけんができた例下 を必要を利下 がエンサ機領事より大要左の如き がエンサ機領事より大要左の如き エンサ氏が

風

景

藏次官夫妻(4)慌しき組閣本部で記者團に取卷かれた河田氏の翰長ぶり至思總裁を私邸に訪問し援助を懇望(3)傀儡といはれ乍らも藏相に納まる藤井大宮賃(1)組閣本部首相官邸に運び込まれた鮮鯛(8)岡田新首相、鈴木政友會

一體が分裂する事になれば、

なければなら

の點に於て聊か舉國一致の實を

の新入開を見ない點に於て

めは原國一致内閣たること曹

日

い非入閣是々非々か主張を

便乘停止

州低

権を局長に委譲すべ 日本警乘兵

通郵實施形式に

支那當局苦心

たこさになった。此處に端

農林の政友會三名、町田商工、松 は床次遞信、内田繊道、山崎之れによりて政黨方面の入閣 網羅されては云ひ得ない。 のるが政友會の鈴木派が之 北平山海關間

のであらうが、實際に於ては輕黨を輕視する積りではなかった ては自ら語る如く必ずこと

二の次ぎになった。岡田大將さ

月

民政黨方面に對する交渉が

年

閣は明年明後年の海軍會議、並即の延長さ見られ、政策に特殊閣の延長さ見られ、政策に特殊

るこの理由及の黄郛氏の脚北條他 早能であるこの解除を験へてゐるでの野の繁煌域の治安を響す て際戦區域が安定したこ見るのは、東京の騒み繁煌は班て支那民衆の感 めて来たが日本側は通事實行のみ部は通事問題の解決した今日職東 東京の長城線外撤退方の誤解を表部は通事問題の解決した今日職東 東京の長城線外撤退方の誤解を表記しません。

を得ざる場合の外は日本警備兵の な得ざる場合の外は日本警備兵の

なく日本側警兼兵の必要を認めざ

北寧鐵路警備權

國籍別

郵便貯金者

委譲を要求

殷同氏の留任條件

の機職事件以來差したる大事件も

軍司令官の招宴

クラ

獨立運動熾烈

ソ聯政府崩壊の端か

『滿洲里七日發國通』ソ聯經由で

ソ聯より來滿 一邦人談

つき突込んで考へればならのき語に見ら解我々はロシアの現状なら

前より引獲ける満洲問題を處

酊記の如くであるから、齊藤内

電気に打電したことは野歌の通り は常性せらめるに決定しその言歌 は常性せらめるに決定しその言歌

行は注目されてある 行は注目されてある 高の際殿下の御行事に携はつた では過程の秩文宮殿下御來 司令官は過程の秩文宮殿下御來 の際殿下の御行事に携はつた 開催した 中ヤマトホテルに探茶M勢塞を 中やマトホテルに探茶M勢塞を

力でいたかってゐるが最近カリコ極めて東メモー 機めて重大視し獨立驚覚に對し機

> 調查員 水產業

出開發發

江の魚類その他の一般無難で

交代表

本派遣不必要

サム濠外相報告

震中央執行委員會の決議案中に左フ市で開催されたウクライナ共産

迪車以來郵便物激增

内以行十五 を飛むって待つてるのも並大抵に現金を振って人のうしるから ちやない。

◆其内でうしたものか支掘ひの方の難口を閉めて解説は何盛かへ行つてしまつた、さあ大甕だ、受掘別々でさへ混み合ふのに打った。 さめ大甕だ、

(版內市) (二)

0

輪廓

岡田內

閣

のは満洲事件の締めくゝりであて是非共解決をつければならぬ

說

から新内閣の使命

に全力を傾倒せんこさな遠む。 否人は首相始め開厳一同、能く

新内閣の閣僚は大略決定し

長城線外皇軍の

撤退諒解を求む

南京外交部非公式に

留任者四人を数ふ。更に藏 後藤農相は轉じて内相さな

● 中込数を繁を除へ出してから一時間にもなるのに未だ順が來な時間にもなるのに未だ順が來な行かうさ思ったが、折角貼ったが、折角貼った

◆ ではまる月曜日に発きな二枚組みに日本機本局へ出かけた、常徳郎で変像が、支郷を楽の方は手でが、サアさいへば直で振へる機ができない。

南

甸子匪襲

後場市況全

鮮農四百全滅

○心臓に働いたい

附に接した。

でしてるのに、一 でしてるのに、一

昨日入満せる一邦人はカイタロフスを越えて分岐してから或る中フスを越えて分岐してから或る中でがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがその他の兵備は容易に見るこれがある。 やない。 やない。 なの総数の御下は をない。 ないのは此頭が

我々の直面せるは、地である。 の事態は相當逼 水産物の調査を行び水産製を開催して、く右調査員に既にハルビンを出致したが調査の上粉水酸河に大いのとンを出数したが調査の上粉水酸河に大い ムツソリーニ氏顧問イタッ イタッ 下位春吉氏

反ソ運動 ヤー

四日間大連地方送院で開催される 四日間大連地方送院で開催される 馬東殿野下野祭司送院政府 高新京野察署倉田司送主任及い總 高新京野察署倉田司送主任及い總 八日出数の像定である、なほ同會 では着外送権撤廃を握へてゐる際。 大量的質付けななす機様である大量的質付けななす機様である大量に輸送したが今後も引鞭きて水園に輸送したが今後も引鞭き 司法會議出席

最近ウクライナに於ては共産黨の【新京特電七日製】情報によれば

府書局はこれが野策に腐心してる

するプリヤート族!

よって主権を掌握されてゐる脈密を動し地の司法、農工、文部等各

は猛烈な震動な策に反抗な

長岡代表消息

居はこれが懸く でそれが影像し同さ にそれが影像し同さ

く動揺してる

方面の空氣は著

日極東襲察旅行の 整使師さして日本 を使師さして日本

において東京に通 書を職邦下院に

野意見な披露し

七月

一十日から

鮮滿連帶輸送

往復二割、團體大割引

白

0

賣

白靴一足お買上のお方に

靴クリ

ム一個差上ます

を加へるに発った。 を加へるに発った。 を加へるに発った。

通は非常の際通

する事が出來るご言ふ日滿交通上

し往復は二割引さし順振に許らて によるもので 名

Ξ

三三

(新京特體七日韓) イタリー首は (新京特體七日韓) イタリー首は (第五京特體七日韓) イタリー首は (第五條) 日本市は九日より概記帳 (第五條) 日本市は九日より概記帳 (第五條) 日本市は九日より概記帳 (第五條) 日本市は九日より概記帳 東が現地に急行したが詳細は不明である
での現地に急行したが詳細は不明である ソ聯穀物輸出部 哈市で大豆買付 てあった であった であった 產金買上價格 哈市見本市

於

長崎園藝會出張大連社會館

盆栽庭木҈陳列即賣

七月六日より十日間

宣傳の爲廉價販賣いたします 是非御散歩方々御來遊下さ

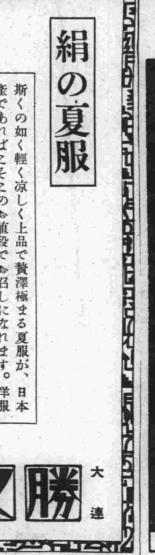
七日發國通一蘇聯穀物

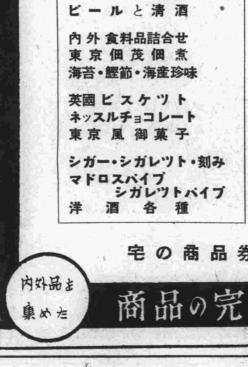
宅の店

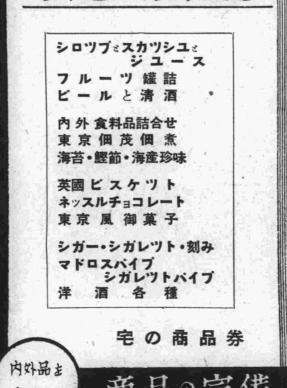
絹 の夏服

通と申さる、方々にお薦め申上ぐる高級夏服の一産であればこそこのお値段でお召しになれます。斯くの如く輕く凉しく上品で贅澤極まる夏服が、 上ぐる高級夏服の一









御用命は輸入元の弊店に 洋酒、洋食料品、洋菓子の

四二五四四九

に奉天曜は商工都市さしてのず間にふきばしい正

國餘、本年九月まで竣工せしめるために大努力である、改築され

のルーフ上に待合室の通路が践けら用心さいふまれが立つてゐる第一、

のルーフ上に符合室の通路が践けられるのである、象葉は三十萬用心さいふ鯱桃が立つてゐる葉一、第二ホームの雨除が壊されこれる事を懸吹遊の響きが炎天下に続れてゐる、工事中につき御

奉天驛の改造『萬の大奉天都市

其の表式

元 接に管内大塊系中骨線脱組合産の 機能がパークシャ及びの設はなる吹曳 機能パークシャ及びの設はなる吹曳

であるが、本年は沿岸県 百隻は保険流下せらむ 一般がを持ち水路を唯一の 常に逝出せらめ上流神 一般がを持ち水路を唯一の 常に逝出せらめ上流神 が一般がを持ち水路を唯一の 常に逝出せらめ上流神 では一

合な組織せらめ在来種の

楽書だしく膨々な

(北平出版) 曼思、北西北京に版するものは――に版するものは――

で態度でないる非難の繋が各方面とは大會社たる態製公司のこるべいは大會社たる態製公司のこるべい。

今秋九月二十日新京献紫學校に於る東天』全國中學校長會議に飲々

いて開催されることと

期待される教育刷新

(できれる調で出席者は約二百名の) 一年奉天で開かれて以来十三年版。 りに第二回会議を満洲國首都で開い りに第二回会議を満洲國首都で開い がより、これでは、一年を表で開かれて以来十三年版。

となったが満 | 天教育職合會戦さ共に盛大な無親に ・なったが満 | 天教育職合會戦さ共に盛大な無親に ・なったが満 | 天教育職合會戦さ共に盛大な無親に ・なったが満 | 天教育職合會戦さ共に盛大な無親に

王道、三民の

教育對立

舊臨楡縣の學校

の妻女は法廷で「私が家賃の保證」

今秋、十三年振に

新京で紫會議

かのは基だ怪しからの」と極帯鏡

代理総護士に喰つてかゝつた程 がないだらうさの歌定のもさに がないだらうさの歌定のもさに

極暴は甚だしく各所に問題を起

職は、施だしく各所に問題を建し、 性が、対する大家主派業公司の のある、 のおいで、かられてゐる、尚今日までの訴訟 のが策に大なる使命をもつ東拓 との総等は益々増加するだらうさ

護士を法廷に立たせるここができぬために勢び家主代理総護士のために競々法廷で恥じめら人はこのため被告の位置に立ち原告の家主からは恰も斯人扱びにされ僧家人さしては代理総

家主と借家人間に紛糾を生じ窓に法廷に審きな願ふ者が多くなり借家

れ懸念主の情暴に泣く者が多く奉天の發展に副うて發生した悲劇が随所に演じられてゐる

に「どうも家覧を支掘ふ能力がなてあるが、最近送送に現れた事物

善良な借家人をまで追立て

訴訟百數十件に達す

豕主の横暴に泣う

旅情を慰める

= = 1

【安東】日浦の國庭縣安東は日浦 「東窓からホームから」では住みなれた(製しい満洲に説別すましてある、此の問題を見廻してある光報は銀列。まではとめて満洲の風物に送し或 車のここである、しかし去る人も 季の味で最も取象の深い所である、此 の問題を見廻してゐる光報は銀列。るが味で最も取象の深い所である、此 の問題を見廻してゐる光報は銀列。るが味で最も取象の深い所である、此 の問題を見廻してゐる光報は銀列。るが味でなりるがを変してゐるので安東縣ではは一次などになる。

が今回要にホームの瞬間に入ッで が今回要にホームの瞬間に入ッで が今回要にホームの瞬間に入ッで が今回要にホームの瞬間に入ッで が多い停車中にホームを散歩する がをいい事中の苦し

安東驛のサーヴィス

退風に悩んでゐる旅 の心霊とは車内の苦熱 れについて

ムに根示放 道中の無聊を慰むる

まき育が對立してゐる、現在では二十八校生徒も一千三以上 は二十八校生徒も一千三以上 してゐるがこれに反して先生の してゐるがこれに反して先生の でせられる 海邊警察隊 冬營地物色

おり加ふるに通學兒童な有する際 れてゐるが收容力に於て遺憾の監 れてゐるが收容力に於て遺憾の監 であるが收容力に於て遺憾の監

舉行するさ 撃行するさ 東行するさ

のこ見て其指定な徐望してゐるが は 受けて 明明 これの である、 同地市 である よりよき場所を選定すべく物色中のさ見て其指定を探望してゐるが

八棵樹の護り! 三勇士の

満教育會では今夏休暇ん満洲の事情を實地踏査す



上等兵楊玉珍(1m)の海 ツクが驛方面に向け廊 ツクが驛方面に向け廊

切らんごして

陆埠地小两關

慘!四重

裸樹(開原東方七郷里)を襲撃しのム味二百餘名が開原販第二區八のム味二百餘名が開展販第二區八

の東南約五町餘離れたる影勝の丘。 が今般態を竣成を見たので七月五

殿で関係者につき取調中である。

伍 操みに事

く着て

的 和 製

果の不臓を揺來したと

合計六百三十二 築を講真ふに至ったゝめ殆ご南滿 管砂右全部を南滿洲奥業會社にお **浦奥業より非常なる廉價を以て建** たが中途叶井融管がうち百戸を南 除戸の建設に就ては るこさゝなつてゐ

く建築工事は製鋼所

展を阻止する者は誰 盛ら一部では早くも 更に鞍山の一般經濟

も新興鞍山の登

へ見えてゐ

界に大打撃を

を教育の彫新に力を注いである時 を教育の彫新に力を注いである時 を教育の彫新に力を注いである時 画脈総中駅に編入された同地第四 一エボックを動するに至るべく各 去る二十八日奉天を出發した教育 方館から非常に期待されてゐるが 懸病田督授科長は三日齢低した教育 一行が九月十四日來奉を機會に奉 語る

羊豚改良のため

父配試驗場を設立

さらに羊種試験場をも設ける

奉天實業廳の計畫

警備軍護衛

七百の廻送船下航

欧善等が研究され又滿洲國さし、密を加へ滿洲な中心に教育方針、

に對する製鋼所の代表社を慰蒙方に決定してますり 建協會が割込む等製鋼所、 あた残り五百三十餘戸 土建協會におい

建築敷地の問題で満 代用社名さして管泉 施行心完成

瀬城本社さ地方 したが、今度は したが、今度は 後はこれを南



其中の一人。

中で撃生の勇躍ます~一昂まる。

(上海出版)申報、 (上海出版)申報、上海民報 維護良友、維護循環 維護良友、維護循環 (廣東出版)申報、時報、 (東東出版)申報、時報、 (東東出版)申報、時報、 (東東出版)申報、時報、

然な響風がこても解禁嘖々。 に出識、老鞭響に描したがその自 に出識、老鞭響に描したがその自 され、いよう 0 0

をの離上老女史は艦大の校職「以 をの離上老女史は艦大の校職「以 をの離上老女史は艦大の校職「以 をの離上老女史は艦大の校職「以 をの離上老女史は艦大の校職「以 をの離上を安とは艦大の校職「以 なしていばれた有名な支那の國賓なしては、いよく人養證夢集開始。 清朝中興の傑人曾國藩公の令題

沿線往來

をお創り下

3

つて御稽古に一生概念、色ミリビリの深鏡につかまつて御稿古に一生概念、色ミリビリの深鏡につかまつて **素れてぬた大小の河童速は飛沫かわげて剪を職散、** 營口水泳プ ル 開 かっ 折り手なさ 方が見水泳には

の筆になる三勇士戦 の筆になる三勇士戦 れ下方に飯田中隊長 奉天附嶽地内料理店の蘇酸婦だけ でも毎月十萬圏から十三萬圏さい に巨額の金を稼いでゐるがこれ等 七名(内地人のみ)

廢業者每日二三人

満洲醫大だより

着工 さるとこさいなつた

ゐる影教振りである、又酸婦の方に達しないうちに前僧を皆派して を備へてゐる者は殆ご契約期日
を備へてゐる者は殆ご契約期日 0

第士の崇高なる動な夢

は朝に夕に八棵樹の一同村民等ならて同碑。

一般婦は最高千四百圓、最低二百圓、最高四千三百五十圓、最低百圓、

さは近頃それ等級酸婦を落籍する一人もゐない、又最も興味あるこ のに對し酸素の徴金のないものはになつてゐるものが十五名もある ないが、現在藝妓で無借金で自 四日よりの夏男休暇を利用して日本天谷警官職では來る十 選拔教師講習

时年頃端安軍

王道主義宣撫に





『奉天』十二日午前十時より忠憲 塔において嘘かに忠憲塔法祭が執 特終了の像定である 時終了の像定である

の新患者が愛見され大器院を甦へて既に二十六名要生と最近綜々鑑明してはじめ五日に九名六日に二名 撫順の赤痢 患者續々發生

【奉天】事變以來急激に發展して 敷島校分校設立 會と催し

がて執行 り三日間毎夜七時より炭 り三日間毎夜七時より炭 の納凉に唱和して來る十 の納凉に唱和して來る十 ◇鞍 田圃奥朝日山共同墓地に参施餓鬼ー十三日午後六 **毎夜七時より炭礦クラ** 唱和して來る十一日よ はれるので一層盛況を発行されるが本年から 二十四 施行十六日施行八、



鐵都空の護りに 製鋼所が率先献金

> 選拔教師の左の講習會を行ふこさ 肺能學校な中心とする各校よりの确各方面の構成者な揺鳴して省立

列車魔煙の如く

花街だけは 不景氣知らず 車の財布四個一奉天朝鮮銀行支店 寝臺車を襲ふ

淨財數萬元 横領費消 紅十字滿洲總裁

同日が歌所では次の飾り三百五十 以て請負はすこさゝもた 以て請負はすこさゝもた 公局二四様四八戸伊賀原組へ同 二三棟四六戸為井組へ守備隊前 二三棟四六戸第井組へ守備隊前 二戸池内市川組へ病院前二四棟四 三六戸志岐組へ同二四棟四 三六戸志岐組へ同二四棟四 三六戸志岐組へ同二四棟四 三六戸志岐組へ同二四棟四 三六戸志岐組へ同二四棟四 【奉天】生ける宗教閣覧さして活

してるたものさいはれ各分會聯合 彼は事變前までは紅十字會本部 から東三省に派遣されて來たも 面施療班も計畫されてゐる

忠靈塔盆祭 旅順角力協會へ

原発 高知 数山、明町 京都 上海、シカギ 東京、高祖、名古湖、金泽、京都、大阪、時戸東京、高祖、大阪、時戸

御手紙下されば詳しい説明書を売上げます又個急ぎの方は容態を書き送げます又個急ぎの方は容態を書き送れて別手三十銭お送りになれば選集を別名で急送します。

の頭痛にパーシンの 月やくの御手當は……

か

一氏一致も早いが脱戦、あれこれと迷ふのは寒酸です。それには赤い 間部はから信用を戦いて居ります本園の影響をで、上記の先生が御意明になりまることが断水る良楽を御すくめいたしまとが断水る良楽を御すくめいたしま

Sol Sol パイナップル

此項ハヤる ジャンケンのよび方 チョコレー

東京 男女生殖器



今年は自地の浴衣が発感

湯上りの存在再認識

でるかりそれは壁に移り和な現一衣本来の正難に微かしたものさ見ってはめてぬます、が何故白地が 邪道に足を踏込んだ密衣が呼びぶる 代人の流行心理だけでなして誤る

えない程標で強まる網靴下な

んは、これは残ごうみても

さうである。

☆…さころで彼女の連の娘

てやらうさした親切者が、裕かちらのこさ、其の蠅を追つ

に十四、五人はあつたさう

出してバタバタで顔を叩いた グの踵の邊りから自粉刷毛を

寫實的な蝿の輪が描いてあっ

商

常識講座

選擇の秘訣公開

性がねばつて

乳の濃さになります。なほ様ミルーの色の白い方でもたらドギッイ物。一番織もいものですから或るべく概されてぬますから、十二が至十一先づお顔の色が黙瞭でせう、で顔一方もありますが此の反黙色速度が概されてぬますから、十二が至十一先づお顔の色が黙瞭でせう、で顔一方もありますが此の反黙色を選ばれる概ミルクは牛乳の約七分の一に震・準になさる方があるやうですが、「い色合でも似合ひます、お焼みに腰り長くおいてはい けません。

すが、鱧の口を開けてからは、矢から、背塞等の心配となく使へまから、背塞等の心配となく使へませず、

ら申上げますさよく洋服の色を標

か――私薬蘭質人か まず 色が凌黙くてガッチリことた方でとが は避けて淡く、こからはつきりと したらコバルト、ダーク・スカイ -ク・プラウン系統で相當きつ

胃か心臓に障碍 があるのでせう

理験ですが睡が精って出なくな口湯を誤へるのは生理的に見る 或ひは心臓性の障碍に基くもの 洗った芋を皮のまゝふかし、 牛乳を加へて火にかけ、

りのよい手拭地に、柄は思ひきり上りの着物ですから地質も肌さは

裁のよい織ジョ

カリで浮出了白地浴衣の魅力は背出來ませんと、夏の背明りにボッ 湯上りさらての存在を再窓載するとなり、再び浴衣本本の――師ち

流行線上に返唉く

汗しらず だしらずの粗悪

テレらず でしらすの継越 過上げのがちゃんが寛白くなるまくなつて居りますから、がちゃん サルチール酸ニグラムを選ぜ、機には時々製浴を軽へるのを忘れつ ふるひにがげます。汚しらすを喰ってついる。 京覧のやうなものです。 いるので、汗しらずは一時期への滞めるので、汗しらずは一時期への滞めるのでは、

家庭洗濯法

最後に知つておいて

のご家庭での

ちやん用品

粉ミルク鑑別法ご汗しらず

お母さま方の知識

(四)

の迫力を持つてゐるだらう、その (官學派)の數百號の大幅も及ば (官學派)の數百號の大幅も及ば をよう性能が驚地で公開されるの特別出品の獨立美術協會々員中山 は等と

らず、今度出品の花はらず、今日の如き純郷

羅巴同盟の支部長になった、

さなつて向ふに行け 日本の女である事

一条人生の目的は単一条人生の哲學の一般的區別を表現の一個人

和洋菓子ご喫茶の店喜

久大

歯痛。セロシ

(聖路心)日本橋葉局

は

さいふ翻譯ものゝ中に汎歐蘇巴同 ・ 型の事が書いてあるがクーデンホーフの母親の事に出てゐない非常 ・ で頭白い話だ。 又別な途を辿つた女性の一人です思います、ラグーザお玉さんさは

日本女性の龜鑑

意志と努力・ク伯夫人の半生

第二のラグーザお玉

木村毅氏を繞る座談會

[9]

日本さオーストリーが酸同士であってす、日本が外属に送り出したすです。日本が外属に送り出した

受驗生必携

第四回 五果會展覽會評

ールを想起するに充分である。 東端さ、花は二點共に推った。

カットは一般のでは、大作他数監出品して居るのののでは、 が氏はットに中央に於て二科、獨 が氏はットに中央に於て二科、獨 が氏はットに中央に於て二科、獨 が氏はットに中央に於て二科、獨 が氏はットに中央に於て二科、獨

る、始めレア

者だ、今度の出品三點は、完成を銀持を抱かせね。

前さ思される様、

山道禁助氏花、風景

られればならね。 られればならね。 「静人の出鉄」に関で以來進展を見せ三十號風景は関係が表正氏の繪は何日か二科會で何處かキリコの「静人の出鉄」に

を傾向の挑散法的野成し充分者へ 塩人。夜中の一時に等ある、か、

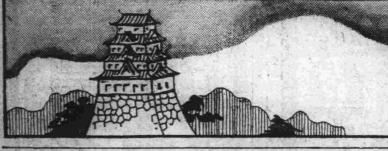


中元暑中 高尙で体裁、値頃共によく 今年も賈行第一位! 御贈答用に





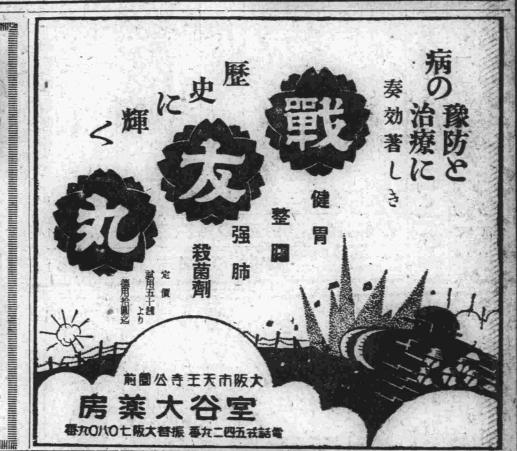








川声·声·福·



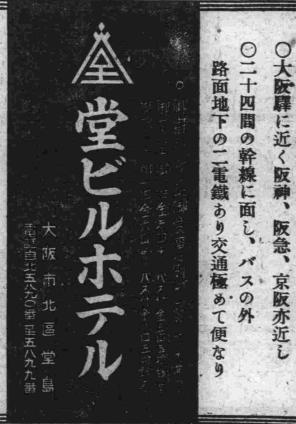
行断賣投大の典解 『一金のタタ本合册拾典解 『電子会のタタ本合册拾典解 『電光学は電話を選手」 『電光学は電話を選手」 『電光学は電話を選手」 『電光学は電話を選手」 『電光学を表する。 一条での大き刺の複雑書と 「電光学を表する。 一条での大き刺の複雑書と 「電光学を表する。 一条でのよう。 での大き刺の複雑書と での大き刺の複雑書と でのまます。 での大き刺の複雑書と での大き刺の複雑書と での大き刺の複雑書と でのたき刺の複雑書と でのたき刺の複雑書と でのたき刺の複雑書と でのたき刺の複雑書と でのたき刺の複雑書と でのたき刺の変異さまます。 できる。

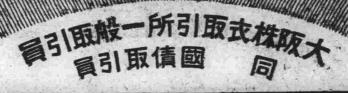
部賣投房書秋春 葡萄便新成東市阪大

一本の記録と 一本の記録と 一本の記録と 一本の記録と 一本の記録と 一本の記録と 本本の記録と 本本のでは、 本本のでは、 本本のでは、 本本のでは、 本本のでは、 本本のでは、 本のでは、 をのでは、 本のでは、 をのでは、 を



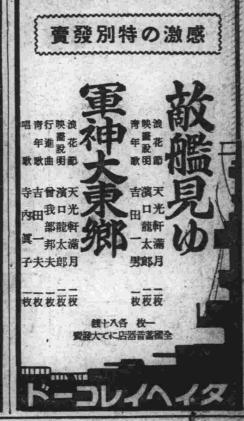












學博士

深本辩之助

一話五三七〇番

前の都 (Allower)

スカーテン

3

電 七 九 六 八 香 振替大連三一〇九番

ノドノ

ビョウ

奇

愿

日本棋院春 古 古 古 先

新强力殺虫剤

野球その他で用ふ

ア火山征服アヴァ

●何等副作用なし なほ胃腸及脳を丈夫にし、 痛み、苦しみを去る。

剤と併用すれば早く良くなる 爾を元気にするリキシンを本 醫藥及注射藥と併用差支へなし 衰

神經痛・胃けいれん

カスレを良くす。
し・聲の・呼吸を樂にし・聲の

ぜん息・せき

▲病原歯及その毒素を除去し、熱病原歯及その毒素を除去し、熱

▶肺・肋膜・氣管支

年佛理博·發見の新良藥 烈・たん・せき・息切れを良くす 神經痛 番 愈々發賣!!

脵·

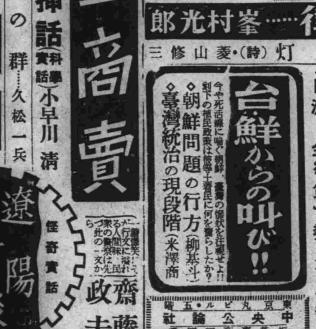
4

ん息・

から

しき時代意識の胎動は茲に!! 堂々次代文化への装甲列車・ 0) 待望の新人號!!新





№日濟し金を貸す婆…石 ★カムチャツカへ 電 4肉と文明…芝邦太郎 青 つゆのころほひ・福田菜 葉の道・導入 石上樹人

るけ於にム(人貫永久) ズリアリ 法方作創

イヌ女の 錢浮世 問 は・ポントノ文之介 橋康文

の崩壊なり た 39 對 性原 **性原理**

前景氣沸騰、即日賣切の虞あり即刻書店へ!! 來り掬せよ、オール新人の意 借豐 郎

【面局の迄成角七五は圖】

ての機運を作るか 職業チーム組織案

ニホンガケ(卓球)

義太夫(大

蟾蚊·蚤·南京虫·虱·油虫等食 乳剤になります この夏も

所究研学化島兒康

配し書面にて申込



(-+)

の、子

幸侵

増水四十尺を越り

ハルビン洪水か

象雨歇まず全市警戒

要塞地帯を徘徊する怪支那人

きのふ旅順港の異變

一豆戦艦

重に取調べた資本

行中である

筈である(篇眞は一行の元氣な姿)

時の意思を行び午後自由行動、同日七時同地野九日早寒睡連の内各所観察を行び午後自由行動、同日七時同地野九日早晩養芝、直に市をチャーターし眠々しく出帆したが一行は八日早晩養芝、直に市をチャーターし眠々しく出帆したが一行は八日早晩養芝、直に市

芝罘視察團出發日曜日を利用したとこー

易ならのしこし、或 の供述がかくも異つ に喰い述いの世リヤ

新京白 三圓方

米相場

通」先般來昂騰を あがる

風の汽船

知らずに昂騰さ悪が将離

道聯合會では満洲柔道有段者の一行ける出發通り東京東道聯合『東京

松の里○〈押じ出じ〉▲常陸島 ○(さば折り)▲大高山

防劑の効力

ケ月後に發生

大連の寺田署長も近く呼ばれ

等々の情報が各署

赤痢で死亡は他の原因から

小坂衛生課長は語る

夏。食慾不振

他人の下馬灣は金樂に聞き流してなられるが、静命一本でごんな都落ちさなるか地らない深草な都落ちさなるか地らない深草ができるが地らない深草が

何卒一層御利用下さいますよう番號索引をはぶくため屋號と同一の番號を架設しました

電

話

增

もこの頭の天候のの

電新話設

大連磐城町電話

割

れない、併し若し豫防劑による

波紋を描いて振がってゆう

心にいろくの下馬が大きい種々で入つて來るで、これを中

就金の関西角力協會大角力策が角家の人氣を集注して居る

大の里優勝 二日目角力



神潮常松通ケ陸の川濱島里

(蕭の単

を流が異なったいる。 を流が異なったしている。 を流が異なったしている。 を流が異なったではサボ氣分が現れ、仕事 もオチー〜手につかす「誰が器」 にしま明けても暮れても異動下 だ」を明けても暮れても異動下 第三日 | 10日 量中の御 ・ 東京風生干 護子学菓子 護子学菓子 ・ 変語これのこと番

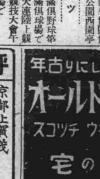
御中元用好

銀床裝置寬寫

森

「洋系 番─≡─四表代激

でいますりといいまけんのこうがしまれているのからころ 警博雷田 精





にあった山梨縣甲府青年期の若宮特電七日報3 在満島軍駄間の壯淦



パイプ 類 龍 詰

づま

炯職遺族救濟

財團法人 廳員、民間が合作して 美 人の準備成る

法を以てこれ等同情子べき人々を を契機さして、関東駅が職々財命であるのがあり、職で何等かの方によつて一萬園の部附を受けたのだしきは日常の生計費にさへ困難 武藤長官 から生前の意思 サキカ月前

戦に続の里、大高山を破つて優勝 場し天龍、大の里等の多数後援。

軟式野球の料式野球の

れば大美安徽に荒狂ふ家雨は凄じい濁流さなり厳江な世歌せしめ、第二松花江苦い総職を持つてゐる全ハルビン市民に8・0・8の警察を配打してゐる、市古い総職を持つてゐる全ハルビン市民に8・0・8の警察を配打してゐる、市 資金より殆職者の遺族退官者の

大の里へはり倒しるの錦

不安の土俗植物を

が學術探檢

集まる世界學界の瞳

三河方面 珠爾、ハロー 上が、ルピンに引送し

公、特殊の事情がない限り異能

夏

浦

海を眺めて

(食事は安價)

自動車 一十哩以内に改正 の速度を

大連星ケ浦

H

電話九八九四番

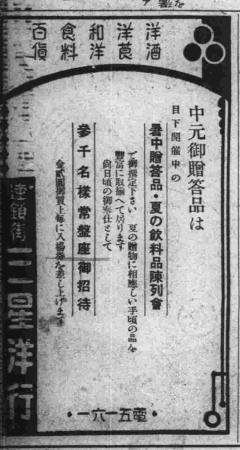
大連署から意見禀申

に連合せる速力さして二十哩程度 のでこの機会に大連市内の速力をに変正する必要を確認されてるた 二十哩に規定すべくこの程大連といいます。 これでは、二十哩に規定すべくこの程大連をおりた。 これでは、一十四年度 のでこの機会に大連市内の速力を

立滿 回戦

けふ午後三時より

和洋 洋莨 洋酒 食料





(2%" × 34") (3%" × 4%")

東京電氣挑武會社

大連・奉天・新京・哈爾濱

ストマンコダツク會社

整行

社會式株酒麥鱗麒

介倉に於て入閣者な三名さする條 氏は六日夜の碳な館と老郷跡の職

名處分を行ふほかないものさ

ジ同勢力

分カ

床次兩派切崩,

山崎

兩氏が

床次竹二郎氏

床次派代議士相當數脫黨

山崎達之輔氏

友會から離れることになると腹見間されてゐる、而して麻灰氏が歌

『東京七日養岡通』鑑賞従業試は「が、東鑑管内主任緩に総議の結果。 「東京七日養岡通』鑑賞従業試は「が、東鑑管内主任緩に認識の結果。

人臣を希望せず

果鐵主任級の主張

職で決定した新内閣がれた政友會幹部

では驚臭な人際せらめて援助するが鈴木穂越は七日午前九時組閣本

流行病の注意、

語可要議館が五分にして辞去した。

政友會の

分裂と

50

輔直信 (前 新 左) (前 茶 在)

警法

視制局長

監官

田 田

の諸氏二十

岡田大將今

一度鈴木總裁訪問

0

関

断交涉

拒絕

せば斷然引拔~

平山

取然岡田内閣に

政友會分裂必至の情勢

老館識は床次氏を除く 外總て入閣政友會での交渉に選頭した陽田大将は鈴木總裁

高齢組、機田氏の徳島組、その の場合せて

東京特電七日發』野政黨交渉に重大慎性

大化しるに繋する今田大粉鯛の取扱ひで植物つて政友會の動搖分裂は今や必至の懐勢でなり欲紫は今田内閣成立氏は果然黨とは別個に岡田内閣に入閣の意思を明瞭に表示するに至った、斯くて成み氏紫珠友郎であり、次で夜半の幹部會も硬論多く 結局入閣拒絶に決定を見たが、織て其去就を注目されてぬ難に響声、山本(条)邴氏で愈見、鑑力で指導を熊溝したが、武友館では同変の長老館諭は床次氏を除く外總で入閣

發』停頓した岡田大將の組閣は政友

閣員名簿を捧呈し、

親任式行はせらる、豫定であ

る、

即ち六日文相に豫定された松浦氏は政黨關

性として七日朝左の

如き顔觸れを内定し、午後

民政黨二の割當となり

政黨尊重の色彩が多分であるのと、

貴族院の會派代

變更さ

結局政友會三、

注目され

3

田田

文弘啓

大大大大大^理 臣臣臣臣臣臣

郎留色 生留色

內拓鐵遞商農 務道信工林 表 大大大大 長 臣 臣 臣 臣 臣

次田崎田



人行發 人樹編 人剛印

地番一冊町間公東市連大 社報日洲講 社會式株所行

治代喜本橋 盛武 村本

民政に協力要談

閩田大將若槻氏訪問

一百圓

0

國境線赤軍

漸次平靜

| 球に が変態の協力を求め種々要談した。

閣員割當の は無かつた

順田大將に組閣の

全滿衛生會議

「どうなすつたのよあなた?」

を表情はかかかの質を前に館も上でまるで、まるで確の子を館すやうに を問着の襟に手が掛かつたさ思

「御用つての、旨く運んだの?」

「いつ聞つてらしつたの?」

かかなけばえて手足を縮めなが「御見なさい」

ギヤング

CHD

島政二

郎

内臺間便用電話番號簿 去ル六月二十日ョッ內地・臺灣間無線電話が 開通シ引續キ本邦・滿洲間モ開通致シマスガ 開通シ引續キ本邦・滿洲間モ開通致シマスガ 芸ル六月二十日ョッ內地・臺灣間無線電話ガ まル六月二十日ョッ內地・臺灣間無線電話ガ まル六月二十日ョッ內地・臺灣間無線電話ガ まル六月二十日ョッ內地・臺灣間無線電話ガ

(50)

太郎

書

親類が一千圓調達

電流が上六日養國通 園園総の表 でのデロ行為歌行計画製 でを大平によるで去る一日、五日な をであるが、 でを大平によるで去る一日、五日な が表示であるが、 でを大平によるで去る一日、五日な があるが、 でを大平によって、 でを表示して、 でを表示して、 でもなども味を苦して、 でを表示して、 でもなど、 できなど、 でもなど、 でもなと、 でもなと

費用

田内閣の顔觸内定

以友三、民政二の割當となり

貴族院代表は1

人閣せず

もなんで四百個な

に達しやう」 際に職弄され難続

この会見で政策は未だ持合せな

として、不職は極めるやうに可愛がって、不職は極めるやうに可愛がってなるのか、別とかってあるのか、別とかってもなべるのが、かなかには始めてのことをだけになほ不無味だつた。何をだけになほ不無味だつた。

ら兩手で喉を締めた。

そのまま、世のさ

ろへ持つて

かをおは手足を腕きながら呻い

の部屋代十圓、福田の部屋代十圓、福田の部屋代十圓、福田 大は宮代省よりビュ 心度協議 ◆…しかしこれまでの多くの内閣 ならカチッポケなもので撮灯に ならカチッポケなもので撮灯に 0 は政策だけではないらしい

名で、主きして左の二案件に関し

、迷へるギのやうに癒

がはだけ、自い乳房が剝き出しに

答へなかつ

なった。 「俺が知らないさ思って、

費機別

際

電話株式會計 株式 會計

は脱黨防止謀議 この外中央側より提出の一、見童衛生(文教部) 設の對策如何

千歳丸

扶桑丸 八日午後二時大連

洋菓子

カメラ(殖轄武)

食料品

オリアンタル

電話長四二五三番

専門の 直輸入元

酒

大連市浪速學八〇

商九時登はさで北 事

長)七日出帆の泰天丸で上海の深谷徳郎氏(天理教満洲傳道) 八日午前九時三十 常務)七日午

會が分裂しかいつた。 政

九ミリ年小型活動寫眞機 小羅倉紗 日型モート

厚 司 大連市営山 濃町市場C電 話四四五

のれ

2

幕

幟

七三回三電

厚司エリ 宣傳檔

印物一式

世 行

モートカメラ活躍の時が来ま山に、海に、 (F3.5レンズ付) 9 5 1 A型モートカメラ 150圖 大連市連鎖街京極(電話二九三三四番)

· 明五染内竹 場五染内竹

するさ見られるが、こ してゐるから組閣は家外早く完成地は今一座鈴木珠友總。 なるが多分床次、山崎、秋田の三 たのの島に跳灰三名の して町田、川崎(草吉)剛氏に内定した。 はいまり、既珠は正式に驚代表さ 念の爲に疎友三名の 機能が揺瘍せばいよ されるものご見られるるご見られるが、こ してぬるから組閣は家

機會が来たら別れるもよからう。 だ大氏一派、乗りかけた船だか に関んで 政憲 さ名乗るか。

ら並往生を御座い。 生水さ赤駒像防 がた。 取り附く励しなく、白い手を突 いて、かながはスンナリ立ち上つ

た々非々で進む

政友、岡田大将に通告

僚を送らず

岩のやうな腕に掛けた。

手にジリん 力が違入って来るので共に、惣兵衛は恐ろしい顔をので共に、惣兵衛は恐ろしい顔を ビクター

「棚手つて?」 「私、誰さも思いこさなんかしや 「知れたこさよの貴様を悪いこさ

政界革新機運 組閣工作の成 本の推動を振げ、結木 を続けずして却で他の して自動の勢力を他の を続けずして却で他の を続けずして却で他の を続けずしておる。別に というなし、且つ酸を から、別に は、一般に をから、別に ののでながらて来た。 ないます。 ないであり、会社へ来で、大きのでは、 をいってあり、会社へ来で、 をいって、 のの内証に端で登してるる。 いの大局を紹介を表するので、 をいって、 のの内証に端で登してるる。 にであり、会社へ来で、 のの内証に端でをしてるる。 にであり、会社へ来で、 のの内証に端でをしてるる。 にであり、会社へ来で、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 の

い冬鼻 のはか案山かる あ E そ U

○ は常運動であった。
中心内臓」の一本僧であったに反射を一体の一体の一体僧であったに反射をして、一体であったに反射を表して、一体の変力の

であるさいふよりも、いる結束力

「嘘を吐け」 事を放り出して、かなるの目の前 に突き附けた。 へまあ、一壁上がこんな電報を打っ 前にしながら、かかるは たのだらう? るさ、大河原から

おむすびころりん音楽音供 ズイズイズッコロ橋い ト ね え や 好きな水兵さん 本多信エルステンで、 「一大・からくり 本子 一井 英ユ お子樣がよろこ 入頭 平山、高山 中山揚代子 本平 多井 信英 子子 平山美代子 0

哀れ· 學童が死

の豫防

衛生器にて繋撃に着手せる赤角歌は脚では本年の赤角流行に際して昨年

夫君(こ)は重態で大連醫院に入院中であ 審地が桝平一君(この)に六日午前二時死亡 審地小桝平一君(この)に六日午前二時死亡

心本年始めての試みさして管

小學校生徒約三萬人に配

者を贈かした。

病を誘發するさいふ奇現象を呈し、關係

養してゐる者もあり、像防ごころか素剛るが、なほ五、六名は下痢して自宅に嫁るが、なほ五、六名は下痢して自宅に嫁

この象防錠幣のために赤痢塩のために赤痢塩の 使用に便なため既に滿綴衛

不完全な處があったのではな は就いては寒野に當つて赤 特異體質 者には反應

製劑者大野醫學士談

| 三年級の級長を貼めてゐる程で性

息を

が野郷中諸県グラウンド音樂堂内であると保護・七日午前四時ごろ西公園派出所蔵。敢す本署に保護・

皆々と随つてゐる青年を發見取

貧困を 苦力・こ

0

腹痛で缺席 受持訓導語る

は何の注意書きもありませんの 全部服用さしたのですが私共に に大人、小兒用に應じもう既に 整務から選達があつて九歳な境

ったかさ疑けれてゐる 數名の生徒

本製造してゐる大野醫學士は語る 曾て山口縣に起った同じ例は強 所能劑の殺菌が不充分なやうに 等へられてゐましたがこんどの 場合は果してごうなのですか、 今赤痢が流行してゐるのでたま でてない分には特異機質の者には胃中でさけて反應を起す場合がある、それが原因さは云へないが若し錠劑に缺點があるさするならそんな萬一の場合が生むたのではないか 豫防劑服用の

死亡した小桝青の主治醫大連醫院 に明かに赤刺蛇状を呈し鹿な養見 あきらめてぬますと悲しい吐息をして明かに赤刺蛇状を呈し鹿な養見 あきらめてぬますと思いました。 しては下入院中の他上兄弟と共 生花町匠をしてあるが輝が悪いさしのでは下入院中の他上兄弟と共 生花町匠をしてあるが輝が悪いさしのでは下入院中の他上兄弟と共 生花町匠をしてゐるが運が悪いさした、小桃有は撃役の成織もよく もらしてゐた(寫真は平一君)

全國學生軍を 邀撃する全滿軍

新進選士を以て編成

一名は職黜事事起高麗三郎氏監督の歴十四名、三段八名、合訛三十四段十四名、三段八名、合訛三十四段十四名、三段八名、合訛三十四段十四名、三段八名、合訛三十四段十四名、三段八名、合訛三十四段十四名は職盟を建立を 十五日柔道爭覇戰

列車顛覆計畫に

弾車の観響を記載中であつたが同したが満洲國軍のため軽速され城、は響成中であるルル、枕木十敷本を取りはづして 入つて約四百の鹿城が五常に襲來 に膨賊が繋來しれ、枕木十敷本を取りはづして 入つて約四百の鹿城が五常に襲來 に膨賊が繋來し、後五常に卑賊が繋來し、 して逃走したが、 (撃天特電七日襲) 五日午後拉遼 織は水害のため弾車べ通さなつて 関は死機三さん

拉濱線五常に匪賊團

襲擊

四百萬

服用者に赤痢患者が續出 殺菌不完全の爲か 書局され合せるためであるが軍警 連による市民の軍警部間につき軍 空演者のため延引してます。 朝鮮の豫定の豫定 方面の軍警を慰 巡回列車を

が概なさ現はれて金品な微軟強さ せる事件があり人心に解験を繋へ て居る

外

流選手連が接戦

あすの大連陸上選手權大會

の鑑道從業域の向上を励るため年に迷惑各地の交化・脈鳴路はき地方に迷惑各地の交化・脈鳴路なき地方 利用宣傳 ソ聯一流の計書

船へ持越した

料理屋での喧嘩

火夫、石炭夫を刺す

何れも赤十字病院に擔ぎ込

溫順な優等生

犠牲者の小林平一君

眠つて自殺失敗

で喧嘩を始め一度は治まつて静盤・無料理等で遊興、泥酔の揚句兩人

車列浴水海

質(15)と小臓子の皮形料理、糖源須取越火夫腹足島縣生れ良般患須取越火夫腹足島縣生れ良般患類性れ良



飲放題に限り二十銭)

·五人楼以上·

(別ルビール)本は

南洲に於ては養鶏が満洲人に奏ぜきりにしてわるから品質且思い、たまで、)
は養鶏の盛なる為である、東京は銀座、大阪、京都は目抜の場所にて雛鶏一匹三は養鶏の盛なる為である。東京は銀座、大阪、京都は目抜の場所にて雛鶏一匹三は養鶏の盛なる為である。東京は銀座、大阪、京都は目抜の場所にて雛鶏一匹三は養鶏の盛なるは、漁州は安價であるさ信じて来ました。内地では品質上等にして満洲に於ては鶏、鷄卵は安價であるさ信じて来ました。内地では品質上等にして満洲に於ては鶏、鷄卵は安價であるさ信じて来ました。内地では品質上等にして満洲に於ては鶏、鷄卵は安價であるさ信じて来ました。

界に取つて多々改良を要するのではないかと思ひます、將來は是非難は養鸡が満洲人に奏せきりにしてあるから品質粗惡にして高價である

3

は t t

本

六店

冊入様三二年銭を二円に割引

A ...

如 及 提 二 円 三 十 銭

食放題 (酒は菊平白雲)

ずき焼

太子堂高地の頂

が検視の結果山東人が發見聖徳街派

サイドカー衝突 ▲朝から 花火およびレコ

大日午後五時殿沙河口、大正通二十七久保正登(三)三帳のサイドカーが整備(第二丁目)高井参一外一名地方法院前電車道路に向は入さらて地方法院前電車道路に差らかゝつ地方法院前電車道路に差らかゝつ地方法院前電車道路に差らかゝつ地方法院前電車道路に対して更に前方の滿人巾帳車によりでして更に前方の滿人巾帳車によりでは、2000年では2000年では、2000年では2000年で 製三十五錢参加和製者に左郎秋 所年會館に於いて月例會か儲了由 及會では來る十日正午より數島町 及會では來る十日正午より數島町

天気予報

焼失を発る 二百餘通は をかけたとめ二十五尺機骸を で際車とたが運輸手久保及び乗合 で際車とたが運輸手久保及び乗合

人連發航空郵便

世疆 丸焼となる

飛行場から京城局へ運送途中

煙草の吸殼混入か

(大石)(新

强盜頻々

富局·檢學

天に再び

來戦を目ざし

九御贈答品賣出

小数費、伸田、三木、桝、村上、 産上界着名の土出場し大いに若返 変上、小手川、三隅、八重艦、渡 或は極地風盤等に重きをおき登覧 連、西本、陶灘、融元等もと日本 会種町に出場せんさして居るので を建いた。 ないふのであるが何分老 〇B連も 若返り競技

其他水物玩具・砂遊道具・花火等豐富に取揃へて居り

電話四三七九・七五四三

最も近代的な贈答品 カツトグラス

とま御覧下さいませ と、カットグラスを御選擇の際 は弊店の品質と種類の豊富さを は弊店の品質と種類の豊富さを は弊店の品質と種類の豊富さを

取揃へて御座います 歌線は

七二八八電町速浪

〇二五五電街鎖連

凉しき會席

曹号

商品 大連イワギ町 **六五** 日日 四三日日 両日 三割

.

ー パ 百ビーサ大

両日 割

(可認物便郵種三第)

七夕まつり

童心ゆかしき夢の世界

今日の小洋相場(計4)

景脈

からのし、できないでは、他物で居れた。で見せの間にやア、他物で居れた。

さいふ飯火な野り

となった。 を松竹一番館中央映画館、日活一 を松竹一番館中央映画館、日活一 を松竹一番館中央映画館、日活一

丁〇漫畵部

オールトーキー、肺臓に高津愛子、鳥弥鳴之場、寫眞は千惠敵人者の長谷川伸原作、森垣竹監督の干事蔵映畵で干暑で事業の商八も女房の前に姿は持たない……義忠さ人慌を描いては繁

衆館も松竹、日活の一番館に劉抗。

直八子供旅

一本刀――御兜行の裏館造を

直八さ高津のおなつ)

味識を入れる漢定であり、二番線 さなる時の計畫より毎週一本外國

この健康美の

No.291

誰が知る・・・ れしさを 「ナアニ、如何に腕が立てばさてやめる」

言葉で威張つて見せた時だ。

松竹、日活の二番線が現れた、め 市内穴館は全部日本映画の上映館 ななつて外國映画の専門館がなく

いかる丸に乗船十五日大連着、同に決定、來る十二日神戸出帆のば一般けた結果いよ~~來滿すること

が大阪支配さら打合せな 流は危ぶまれてゐたが、

第一回

州岭

そ。障本能学記様、井上大騰忍殿 と書き加へられてゐた。 おなりやられて居るさいふこさだ 人論、鎔東雲、宇津谷帳にて…… かなりやられて居るさいふこさだ 人論、鎔東雲、宇津谷帳にて…… 人命のなっちれてゐた。 と書き加へられてゐた。

(可認物便斯浦三耳)

「白狐ではない。住虎ぢや」六の侍だ。

であるころへ、その数の自狐さや | 様の老木……その核の木の軽に情にいるころへ、その数の自狐さや | 核の老木……その核の木の軽に情にも 5が現れたさころで」 りかゝつて、ニャー 第つてこつ さい たのは、観の歩け上げ ちた見てゐる、片眼片臓の立ち姿に たのは、観の歩け上げ ちた見てゐる、片眼片臓の立ち姿に たのは、の情だ。

班及を搬ふ舟下左騰……。

合

H

白白

は

は 日イグフト 田ンゲン

來滿に決定 加茂林長二郎

花岡菊子外女優二名を伴ひ

來る十五日大連上陸

博多ネクタイワイシャツ、ワイ イシャツ生地

大連市伊勢町一〇二一一〇番

御意のまくは 0 31

日より三日間中央映画館にて舞歌 つたが、一行の鎖ぶれば、棟長二 かまはどめ女優は花岡瀬子の外中幹 部級二名である(寫真は長二郎さ 花岡瀬子) 神口魔は楽部において催す警 神口魔は楽部において催す警 發實元 默世 透明紙

巾内各映書館は

混合プロ時代

優秀映畵を續々上映

本郷トーキーを 一本のであるが、各社さら末に要素が 大なるが、各社さら末に要素が 本・一き一を 、新作一様やなるがよりに 本・一き事語はピクター登録では本格的な組織 を表するがより、新作「ボンボコ武兵を がより、新作「ボンボコ武兵を ののであるがより、 を記さられば、 をこさられば、 を記さられば、 をこさられば、 をこさられば、

九〇

御中越次第カタログ郵送祭子用透明紙袋

ねに待ひるも望の

の又の名で莫事作

大實! なでこ 權しの

クロオ のて年生 大ねの活好るべを

分氣いしら精素るよにンタスエウ機名 !氣園雰るた然渾!び喜のンアフ級高

2

頭痛



クレープ・麻肌衣

見るからに清新味豊かな お句心地極めて爽や かな肌衣は、いづれも弊店の特選になる優良品 ばかりてございますから、何方様にも喜ばれ中 元の御進物にはさりわけお恰好なものさ存じま す、クレープ、ボイル、麻、網等下記の数十種な 潤澤に取揃へ特價を以て提供申上げます。 五斯製 一枚 六十錢以上……二 圓內外迄 一組 一圓牛以上……四 圓內外迄 麻 製 一枚 一圓牛以上……四 圓內外迄



中元の御進物には ハンカチーフ

夏の御進物用さらて優良なハンカチーフが一番 お恰好かさ存じます、全く一年中心通じてハン カチーフ程簡便で質用向の創進物品はございま すまい、 浪華洋行には英國産 4 麻、スイス製の エンプロイダーを施した美しい婦人用等體裁の よい函人にて牛打人、一打人のものな豐富に収 揃へて居ります。

贈るに便利 受けて重資な 商品券 市內十七大專門商店共通商品券發賣

仕立券付

ワイシャツ生地を

お勧め申上げます

御中元御贈答用ごして

新着 格安雜 御子樣用品 と白ス

出

牌老准官 帝政第 <u>ー</u>の 第 夏 功 0 者 社會式機築資本日 店理代洲語

行水

榮光之上無

拔 擢 俄然好

高血壓

の危險

返金返品

御

自由の

品品

夏のワ

シャ

八連商議態度

拓務省廢止問題と

神戸荷主より要求

歳末歳首の

日

中では極く考慮し、窓に当日神戸 一方では極く考慮し、窓に当日神戸 一方では一方での数地か設定し来る十 ・五、一方である が果げられてゐる、なほこれにつ 一方では一方である が果げられてゐる、なほこれにつ 一方である かまでもる が果げられてゐる、なほこれにつ 一方である かまでもる が果げられてゐる、なほこれにつ 一方である かまである かまである かまである でて、産

日間で清榜さなり、選案界の股盛を製し、又哈爾復セメント会社機も製し、又哈爾復セメント会社機も 現に北南電銀倉政機の如き事態前とものが一撮蘇生するものあり、 新聞な容別と被害な音級と

河豆混保取 湿保取扱

田本地は大連地域です

ないの事情成織に先づ無難さ見な配の事情成織に先づ無難され、 一歳二十萬國の歌約申込みがあるなごは正しく昨今の金融界をはばひさり滿織に限らず、 職質 好に資行き願る

◆…最近ハルピン方面の日本人間 には整衆熱が膨脈して切りに晒

◇定期前

金 票(現物 10条 奥地相 4 (奉 天) 素 天) → 天)

八日封切 廖 山加石小

李を飛ぶ狼 羅門光三郎 . 篇南國太平記 後南國太平記 原 駒子・・主演

泌尿器科 X整形 線科

全 Ξ

トロン 四打入化

下さい 下さい 一函 四個三十錢 性函 一個十十錢 性函 一個十十錢 性函 一個十十錢

■松ҍ 代表展五四大 描

魔像解決篇·

島映代時作特超活日 より

申込送呈本放資之友 3

井籔船二圓四十銭、三菱紙線二圓等の好ば糯山竈の綿果六月都め三 都市建設事業費

千五百 戦を近り

ーレン島より原油で 関連 漫野物産で

不支貸替 短州の西山大大会替 短州の西山大大会替 短州の西山大大会替 短州の西山大大会替 近州の西山大大会替 近州の西山大大会替 近州の西山大大会替 近州の西山大大会替 一両出

波斯灣よ

油淺輸野

物產原

場電

ものである なず響で罹油圏 がなれば今後

第二回 元弗· 第二回 元弗· 第二回 元弗·

四分利の好條件成功か 書きてるものであり、非常な成功: のであり、非常な成功: のであり、非常な成功: 多大の関心を掘つてゐる

を以て、一月回 能度の成績など 都度の成績など

震活 鬼につき 脚東

日八月七年九

賣行頗る好望

下期財界の實勢がトされる

専時代において真剣にその昇格 正に異存もないやうだ、當年局

るが、その外地事務中にも満洲 その重要性な増大これた理由は、 外地事務の擴大につれて、頓に その重要性な増大これた理由は、

へ稀薄なら

募債交涉進捗

報告を一

要求 から市

滿鐵社債四千萬

圓

ない旱魃の結果米加粉の昂

にその存否性を論叢され、何

案件さなりさうである。

制を促し、延いて機關の一元化

ない次第か、さもかく拓書存否流れにはやはり變散改論も餘儀

題がわが外地事務中

拓務省の廢止

不同意者はあるか

實施の訓令に接し直に開始した | 大学七日登画通 | 國民政府が今 新輸入稅則實施

既設

銀行

沙票不押 アルター

紫林式

防直積 三留比

· 英豐 | [] | 東俯

五英學問室

受撃者へ二千萬國を動造でた戯、 「東京特電七日孁」質出し條件を 下引受業者が5一億二千萬國に室 ・加いには、 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことのことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・一次のことは年末年始には従来 ・ 一次のことは年末年始には従来 ・ 一次のことは年末年始には従来 ・ 一次のことは ・ 一次のことに ・ 一次のこと ・ 一次の ・ 一

税務局より即時 が 新績工場建 に

北滿作 物不良

木米 大連軟島里六六· 大連軟式服引、電優三六

市

等が續出しつ、ある狀態であるが 一般に銀行の繁型に関して は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行 は、その重大性に鑑み、鋭意銀行

滿地方經濟事情 五回見本市前況

安鎭を見る

發行所

す此版告なりて御通知に代くますこと御諒本下さいませ 道で告別式は七月十日午後三時より西本願寺で執行致しま 遂に 死去 致しましたが七月七日午前二時二十分養 致しましたが七月七日午前二時二十分

RR

人連壺蘆島航路 愈よ大汽で經營 五日一航で日東丸就航

殿では去る五日國際運輸で一線定成立、微來崎野運輸によ

提なりこの報道は直接の管下首根の依根散場に接勢を廃止

過去の歴史から注目されてる

都市計畫

省縣公署と協力

以来「都市は一國の心臓である」

「大阪特製六日養國通」 第一次に出て、本年度調査、別所を新院し、市場調査、取引幹出で来たが、今回更にチチハルの都 赤緑、波源等や影臭地七ケ所に出て来たが、今回更にチチハルの都 赤緑、波源等や影臭地七ケ所に出て来たが、今回更にチチハルの都 赤緑、波源等や影臭地七ケ所に出て、本年度調査、別が、新院し、市場調査、取引幹に出て、大手を調査、別が、新原を新院し、市場調査、取引幹に出て、大手を関する。 大阪滿蒙輸組 駐在所設置中止

軍長八五四〇番

一种户屋株式店

陶査部を御利用ドマい! 関類なる調査を慰切なる 産仕に終始する常店 (①)

利引下と滿洲金融界 歌の中堅社員 (そのこ)

經濟滿 七月號發行人あり、定價二十 記 日

相場

歌点は『監督を並べて創立され、株の他 社が響を並べて創立され、株の他 社が響を並べて創立され、株の他 社が響を並べて創立され、株の他

市商會 新税率 策動 を利用

前七時二十分養殖町にて帰逃した特産町整本田敷長等一行は七日午特産町整本田敷長等一行は七日午 0

信の持てない相 職散の今日上下 が外ない▲材料

【上海七日数】銀規及英米タロス 原かりとも日外銀行には弗の賣物 ありて過含みさなる後閑散、側は おりて過含みさなる後閑散、側は 日本銀行筋一一四、八分の五まで賣っ 大月物一一四、八分の五まで賣っ たれ方筋一一四、八分の五まで賣っ たれ方筋一一四、一六分の五買手

便利で體裁の良い商品券發行料品の難入南詰大勉強料品の難入南詰大勉強 ミナトシトロン | 一打化粧繩縛 一ミナトシトロン | 一打化粧繩縛 一

| 一月五日以降 | 一月二日 | 一月日 | 一月二日 | 一月二日 | 一月二日 | 一月日 | 一月二日 | 一月二日 | 一月二日 | 一月日 | 一月二日 | 一月二日 | 一月日 | 一月日

に上場の大豆粕にして十二月限 及一月限受渡に供用するものは 其の積銀船の積出港出帆期日か 十二月限は十二月二十五日積出 港出帆さすること、し一月限は

濠洲粉優勢 市況は買氣潜在で强含

が試養を中止することになったが試養を中止することになった 防蒙大豆の江海

九八四元七九八四元七九八四元六

海標金

電話三四七七番

さを示してる 反映か

北に地方に 證券熱漸く擡頭 日本人景氣の

> 大豆昻騰 况主 H

出來高 十梱 出來高 十梱 整柄 約定期 値 段 梱数 乗薄閑散 上海為替情報 三河屋の實用品にお定め下さ

針 世 労 後 時 れ

(2)

ハルビン洋灰 海運聯合會から 課税の均衡を要求

來春操業開始

近~廳令で改正に決定

を受けてる、同じく大連の職を を受けてる、同じく大連の職を を受けてる、同じく大連の職を を受けてる、同じく大連の職を を受けてる、同じく大連の職を

の外蒙工業 場建設

營業繼續申請 一、二を除き全部出揃ふ さろになってやっこ歌んだや このを明こんな調子で素人間の このを明こんな調子で素人間の このを明こんな調子で素人間の であになってやつこ歌んだや であるになってやっこ歌んだや - 四國臺、上澤雲 ・ 本英のラスー仙 ・ 大洋九六元九〇、 ・ 本英のラスー仙 ・ 大洋九六元九〇、 ・ 本英のラスー仙 ・ 本英のラスー仙

計

Ŧ

H

株の知識を無料送品

麻袋引締り

糸續落

品

神戸期米 大阪期米 大阪棉花

老繼續之以來到所創

セーーーー(大き

正面

には凡そ縁な

日

田藤田

生郎毅夫介留留留领天海

警法內拓鐵遞司商

制閣務道信法工 局部大大大大大

監官長臣臣臣臣臣臣

藤黑河岡秋床小町

沼崎田田田次原田

農文大海陸外內內

臣臣臣臣臣臣臣臣臣

山松藤大林廣後岡

林部藏軍軍務務

京七日發國

閣員は左の如

式行は

岡田新

閣僚顔觸れ全人

七日夜行はせ

らる

(刊日)

岡田の艦隊派

意見あるもすべ一事に決定す

僚身許調查 決定直前入替へ事情

本書は李仲剛先生が約數載の歳月を費して苦心執筆せる新著にして、上下兩卷を全四章に分ち、上卷二章に於ては農工談話、官紳交際に分類し、上下兩卷計九十九課やもに農工談話、官紳交際に分類し、上下兩卷計九十九課やもに農工談話、官紳交際に分類し、上下兩卷計九十九課やもに書いた。上卷二章には主としるものにして、中級以上の支那語研究者に對する好箇の教育を受けて苦心執筆せる新名をのにして、中級以上の支那語研究者に對する好箇の教育を表して苦心執筆せる新名を対している。

正編

送程 四六判クロース 八十五一ス

續編 送網 九十五

詳解 遠間 圓二十級

今後の成行注目さる

電を持つ分子一名も代表を出さり 等が観然さして閣外に存在してる 等が観然さして閣外に存在してる 多鉱に、底離製園一致内閣なるも のさは鑑かに程遠いこさが感じら 即ち官僚の中でも新官僚系に反感をむしる編小収給した嫌びがある。

部には新内閣の政艦輕視した不満さ 歌気勝行き協力に際し民政艦の内

民政援閣一貫

不氣味な沈默

ってあって概での監で有利である。 からこの際磁な館の感慨に刺戦されて之れさ道づれになるここを不 利さし様に次の概識なに際して驚 するものもあり、少壯派は驚の態と、ひが、幹部は新内閣が後藤内相といい残る民政策系

語指南

大臣が出し組閣「養銓衡に就いては兎に角新法相だ」し入閣者の顚蜒れも入替を行つたは歴々廃女氏」「興氏の入閣確定の外政憲側の入閣、問題に職闘して用心深き調査をなるの入閣、を進める事になつたが床女、町田」るべき小原控訴院長を遊びし継続 変形は一股落を告げた 一般落を告げた 長岡代表消息 **菱兒** 大連滨速町 三八 大阪屋號書后 東京·大連滨連町 三八 大阪屋號書后 中谷鹿二著 現代華語讀本 李仲剛著現代華語讀本 李仲剛著現代華語讀本

黨獨自 友會 見 獣せん 心裁の聲明

部訪問 田外相留任に **稼一段落** 鈴木總裁の入

及友本

事を感謝するで述べて零時三十分一十分政友本部に者宮総事長を訪ひ 今回貴黨に於て種々御配慮賜った。

宇佐美總局長

支那語檢定擬試驗問題集

大観念の貨幣能を

司法會議出席

師ち前内閣は高橋翁の八十

Ŧi.

十代が殖に

大使の祝辭

外交方針不變へ讃歌

岡田新内閣々僚年齢調べ

際膝子七十七三腕つてゐる

市事間。主共にバタヴィヤへ帰着されて邦人の熟誠を軍めた飲迎を受けつゝ九目間島内を旅行してぬた長岡代表は六日午後六時木村飲 蘭野 幸勉先生苦心の快著支那語學習受験者渴望の必携書!

生徒募集縣交替行了行作

近江町二西廣場映樂館硫創立大正十二

英和タイピスト學院英郷第二銭」電話四三〇〇番

関切タバコ メイ・ブロッサム 者楽にも似てやわらかく コルクロ 10本 入 ¥。14 20本 入 ¥。28 50本婦入 ¥。70

測量機製圖用品內田洋行

薫風の如く きわやかに **盆へ御好戦のメイ、アロッキ**

精神に則つて日 分グルー大使は絶去した、ところあつた、かくて同じさばしい謎で るさころあつた、かくて同の虚田、ハル両 るさころあつた、かくて同のを出に對しる然同意を 藤井藏相、山崎農相下段同松田文相、

閣員顏觸決定

見て新官僚と民族を

にで動きれ、一般により、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

が経機が新内閣の

本日本紙十二頁

元德著價二圓八十錢 (劉州東八百十萬)

津田 湍

李仲剛著下卷價一圓二十錢(經六納八日一本各三百餘頭)

清洲事變の秘的眞相を網羅し、支那國情と國民性とを評論で、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米のし、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米の上、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米の上、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米の上、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米の上、時に支那若返り秘法と仙藥の研究を附錄とし、歐米の上、東京、

洲事 渡

北平間通車の實施以來通動問題者

リその實施形式な苦心考慮中であって、以外統治能に満洲國承認の鑑いも一

通車以來郵便物激增

北寧鐵路警備權

電子津七日養國通』本月一日北平 海鵬の弾車繁備のため日本順響楽 兵を便乗せもめ、支那順連路兵と 兵を便乗せもめ、支那順連路兵と 日本警乘兵 北平山海關間

通郵實施形式に

支那當局苦心

電子チルハ五日養園通 五日常地に達した情報によればソ職アムールなにありては悪三軍事委員會のかかにありては悪三軍事委員會の

移住取締

七

北鐵東部線の

八部落襲はる

海倫自警團直に赴援

本的一子」手。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」手を表示している。 「一大」を表示している。 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」を、一大 「一大」 「一大」 「一大」 「一大」 「一 鮮農四百全滅

の一邦人談 ソ聯より來滿

【満洲里七日後國通】ソ聯網由で

総な越えて搬出され、一般の危惧を対官民の家財道具が盛んに國境 國境線の危惧 ソ聯側が否定 更動く 軍人出身官

「富田泉の官吏に比して率が融く慰して、一定の官吏に比して率が融るですが、 滅俸令反對

調查員出發

参加酸底は鬼餐外十八帆である 動能で開催されること、なつたが 動能で開催されること、なつたが の概述修進出の揺椀東京酸工製廠 の概述修進出の揺椀東京酸工製廠 の概述修進出の揺椀東京酸工製廠 の概述修進出の揺椀東京酸工製廠 哈市見本市

八日渡英する佛外相 間楽の如きは問題さならないであ 宅の店

シロツブミスカツシユミ ジュース ツ罐詰

內外食料品詰合せ 東京佃茂佃煮 英國ビスケット ネッスルチョコレート シガー・シガレツト・刻み

宅の

マドロスパイプ シガレツトパイプ 種 商品券

で成立って待ってるのも並大抵 呼ばれるのを除き減らさじる足 れちや御客こそい で、さめ大腿だ、 ものか支機ひの方 校の館巻の御下附に接した。 瞬間 しいのは此頃の天氣ばかりち へ出張したさの事。 へ出張したさの事。 へ出張したさの事。 の離いのは三年でも辛抱するこのに、一人の解説が出張したからさて何人の解説が出張したからさて何 どうしたかで聴れたち夏家河子 一般り飛に随るから受入口の方は

講演會

い向の腹がな

協和會講習生 大特電六日發』五族協和の精一であった

中島男を取調ぶ 家宅捜査は行はぬ模様

地方裁判所で

院都領含で物性田競事の取職べな」なってゐる 「東京六日登國通」五日発更勝名」受け關係書類な任意提出せらめること、 な一時半事性密時の關係書類な振。優行されるが家宅捜査は行けず關 でである。これ、時級は一段を持ちれ、取職は今後も を一時半事性密時の關係書類な振。優行されるが家宅捜査は行けず關 では、日午 時半歸宅を誇され、取職は今後も のである。

反ソ運動

フリヤ

ト族

F

米電

於

長崎園藝會館

出張

盆栽庭木҈陳

列

即賣

七月六日より十日間

コニュラス 電売量で発え 800重な企业

と題して職議会な開催非常に感食

り満頭主催で新京商業等堂に於て

密である 響の住民に磁和標準の事及な影る ・ 下位春吉氏

值安值大引單位紀

宣撫のため六日の直通列車にて出意。西、新民一幣に取り王道主義のは出口の献氏に引率され総州、朝陽 會議督所日浦學生十五名は海保、院のため約十日間の學定にて協和・院のにめ約十日間の學定にて協和・ 鈔票軟弱

(版二第)(二)

岡田内閣

說

→ 大解決をつければならね から新内閣の使命此處にあり。
から、しかも此の内閣により る。東に海軍問題である。始め

晋人は首相始め閣僚一同、能く に期待する所のもの亦是にあり

世人が岡田大將の人格で識見さ

一徳林匪ひそかに

、聯に援助を求む

軍資金欲しさの窮策

。陸海軍、外務の三大臣は留新内閣の閣僚は大略決定し

留任者四人を数ふ。

つき突込んで勢へればならのき部に見し解我々はロシアの現状をも

さが出来なかつたさ酷り緊張の中でかその他の兵権は容易に見るこ

ウクライ

獨立運動熾烈

ソ聯政府崩壊の端か

後場市況全 8

マンマング

御用命は輸入元の弊店に洋酒、洋食料品、洋菓子の

宣傳の爲廉價販賣いたします 是非御散歩方々御來遊下さい

各 品の完

酒

内外品主 集めた

長城線外皇軍の

撤退諒解を求む

南京外交部非公式に

者と他屯に赴かんさする

ソ大使館に警告文

友の會は黨員生產所

日

本派遣不必要

サ

ム濠外相報告

交代表

東が現地に急行とたが詳細は不明である
「ハルビン特體七日整至無報」北線東部線海倫北一類里南甸子は

そート族二十五萬な北シ 流飛移住なさもめんさし にそれが暴騰し同方面の もしく職権となるさ

さしめんさしたが事前

さして同地ブリ

歐洲平和政策の

全般に三り協議

% % % 方面の空氣は著

星ケ浦水族館 ちかく再開さる

の水炭館が飛び近くお目見得する こさになつた場所は壁ケ瀧ヤマト こさになつた場所は壁ケ瀧ヤマト ホテルの下、海に棲む魚炭四十餘 があつめ、大人小人共十銭の低

同氏に打電したことは脱級の通り の氏に打電したことは脱級の通り の氏に打電したことは脱級の通り の氏に打電したことは脱級の通り を得ざる場合の外は日本整備兵の を得ざる場合の外は日本整備兵の を得ざる場合の外は日本整備兵の を得ざる場合の外は日本整備兵の の形成してのに別してのに別していることとなったので八日より已む 委譲を要求 殷同氏の留任條件

アムール住民

の食は驚の貯水池たる跳を呈し響。最が搬出する事実に鑑って一廳大大・「東京六日養園通』日ツ女化連絡」とはツウエート友の食は驚然であるいが、食食中から驚い大使館に繋送することとなった「東京六日養園通』日ツ女化連絡」とはツウエート友の食が日ツ女化 使館幣局の考慮を求めるため、その食は驚の貯水池たる跳を呈し響。最が搬出する事実に鑑って一廳大

ソウエート友の會は昭和六年に 組織され會員三百名か集めて機 開紙を養行、ソウエート大使館 から資料、寫真等を譲り受けて で、その資金 で、その資金 で、その資金 で、その資金 で、その資金 で、その資金 で、その資金 ソ聯穀物輸出部

大大学の質ができます。大学のでは、大学のでは、一年に対し、第二千種の大豆を質付けて、一年に対し、第二千種の大豆を質付けて、一大学の質ができまる六月の大豆を質ができません。 哈市で大豆買付

郵便貯金者

結果に関する報

訪問した漆洲の一般の

決潰して不通 背陰河安家間

【新京七日餐國通】七日餐表産金 買上法に基づき産金買上價格一瓦 につき國幣三国二角

產金買上價格

故川見氏葬儀川見建築

歌作金は剛米駅月増進の歩調を 業務を開始せる淅州國交通部の 東京特體七日駿】大同元年五 國籍別

使能の派遣によび 軍司令官 日製」菱川県東軍 の招宴 何行事に機はつた 思見を披露し ひを中止した

黒石礁水泳場 電水泳部主管の黒石礁水泳場では 八日午後一時より同場の開場式を 場合でする由 は最近路頭のため再び決強 を家間は最近路頭のため再び決強 を表情は最近路頭のため再び決強 は最近路頭の見込み

時四十五分死去したので六日午後 四時半東本願寺にて葬儀を執行し た處、生花、花輪の寄贈三百餘、 同氏は生前大連にて赤年土木、

白 靴 三圓より各 0

賣

三店

速町三

Ξ 九

滿洲日報社編輯局

本社は左記要項により記者數名を試験の上で、資格大學又は其門學校令による専門學校の卒業者及び上の管程度の學原あるものとき同等程度の學原あるものと、

者

採

用

り記 者數名を試驗の上

白靴

靴クリ

一足お買上のお方に

ム一個差上ます

合な組織せらめ在来は

でバックでする大家主演業公司の 開州政策に大なる使命をもつ東掖

れ感味主の機暴に泣く者が多く奉天の發展に副うて發生した悲劇が隨所に演じられてゐる 護士を選延に立たせることができぬために繋び家主代理線護士のために競々選延で恥しめら

人はこのため被告の位置に立ち原告の家主からは恰も罪人扱びにされ借家人さらては代理総【奉天】借家挑底から家主さ情家人間に紛糾を生じ窓に送廷に審きな願ふ者が多くなり偕家

一秋、十三年振に

の妻女は選話としく各所に問題を建し に「ごうし家職人が乗りにならない」といふ理由で家職別が乗りにならないと保護人が乗りにならない。 とたので保護人で乗りにならない。 といる理由で家職明測を要求。 となった東下駄職 力がないだらうさの噺定のもさにて家覧を滞極しないのに支握ふ能く代理無護士に喰つてかゝつた程

いつたがこの調子で行くさ借家問

期待される教育刷新

機械(開展東方七郷里)を襲撃しの一味二百餘名が開展緊第二區八の一味二百餘名が開展緊第二區八

和京で 校長 會議

き態度でないこ事紙の紫が各方職を態度でないこ事紙の場が多が各方職

今秋九月二十日新京敞業學校に於く

といて開催されることとなったが満 りに第二回食識を満洲國首都で開 りに第二回食識を満洲國首都で開

日本はカロ多される海洲国ごして 【奉天】國際臨権版より本年満洲 ・教育の彫新に力を注いでゐる時 國際級中駅に編入された同地第四 かうした会合に或は滿洲教育界に 第五區方面の教育販売駅のため ・エボックを動するに至るべく各 去る二十八日奉天を出後した教育 ・一行が九月十四日來奉を機會に奉 語る | 一大教育職合会員ご共に盛大な無親のうき意能なき意見の交換を行ふべつき意能なき意見の交換を行ふべ 王道、三民の



幸能職に繋れた開展守備除分遺跡

計畫たる對爐山下

に延いて管地土建

界に大打撃な

昭和製

る鋼の代表社宅

の運び

を請負ふに至ったゝめ殆ど南滿 より非常なる廉價を以て建 たっさいなってる

つたちしく問題に問題を軽した浴が歩くして先づ質理することとながいまれば

展を阻止する

誰かを減く重大

羊豚改良のため

交配試験場を設立

さらに羊種試験場をも設ける

奉天實業廳の計畫

觀壯の江渾

避築敷地の問題で 代用社名さして これな 成後はこれを南

で滿級本社で地方 東することに決

清朝中奥の傑人會國藩公の令機

沿線往來

新女性美の極致です

をおっこード

で健康美

満洲國民政部出版法第二十七條 中で學生の興奮ます~母まる。 提の孫書堂氏も收職の汚更さらて 総見が殲滅され、古北口外密雲線 が飛動され、古北口外密雲線 其中の一人。

警備軍護衛し 七百の廻送船

れてゐる

一手跳を購入することになつたが | 今回滿洲國より種脈分譲の申込にこれが像第こして九萬九千六百元 | 接っ管内大魏宗屯管室脈槌合産の | 地部上してゐる | 地部パークシャ及の優良なる曖敗 | 地部パークシャ及の優良なる曖敗 | 地部パークシャ及の優良なる曖敗 | 地方、頭を送つたが |

『安東』日浦の園園縣安東は日浦 「安東』日浦の園園縣安東は日浦 「安東』日浦の園園縣安東は日浦 「安東』日浦の園園縣安東は日浦

(可認物便郵棚三第)

旅情を慰める

と、ユー

ス

通信社で職務

營口水泳ブ

ル

開

カコ

鐵都空の護りに

製鋼所が率先献金

ムに限示放

つて水の掛け

折り手かさ

方が見水水

は従来これ等の従著を慰めるべく 主を勢を感じてゐるので安東縣で 本る人も安東まで來るさ飛ご遊風で 本る人も安東まで來るさ飛ご遊風で 本る人も安東まで來るさ飛ご遊風で 本る人も安東まで來るさ飛ご遊風で を変勢を感じてゐるので安東縣で では、

が今回更にホームの剛側に八ッ が今回更にホームの剛側に八ッ かなぶれさせて溶新な銀精を爽へととい答車中にホームを散歩する ーヴィス 税闘やバスポー 汽車旅行のオアシ

らも工夫を続して愛東縣を長途の感謝されてゐるが同縣ではこれか 爲板刷の新聞を配附し してある れについて

程度が低いのには一寸者をあがこれに反して先生

日八月七年九

百良な借家人

人をまで追立て

訴訟百數上

一件に達す

冬營地物色

おり加ふるに通學児童を有する際 地は大連小平島港が有力候師視さ れてゐるが收容力に於て遺憾の賦 が有力候師視さ

駅行するさ

教育視察計畫

[秦天]

八棵樹の護り! 三勇士の よりよき場所を選定すべく物色中のさ見て其指定を徐望してゐるが

盛大な除幕式擧行 の三男士の偉動を水へに讃ふべく の三男士の偉動を水へに讃ふべく の間に世り間部部愛事官、牛螺狗 の間に世り間部部愛事官、牛螺狗 事であらう 慘!四重衝突-

大衛総裁支店前を横切らんさして大衛総裁支店前を横切らんさして大衛教授が配に向け職地地小西閣 行中の洋車、自

に整傷を負はせた 取調中である 察・不能練ながらも内地さ比較して控。

のさ見て其指定を徐望してゐるが一れ下方に飯田中隊氏は安勝中十萬國の金が落ちるも一の事になる三勇士員にさり頗る不便である、同地市一陵上に建てられ中 た娘む発展二丈除去 士の果敢なる行動。

高さ共に崇敬の赤跛を捧げしむる 第士の崇歌なる動を讃へ偲ばしむ 第士の崇歌なる動を讃へ偲ばしむ

ないが、現在整数で無償金で自前はないが、現在整数で無償金で無償を設定されている。又酸器の方は、現代の方の方のでは、現代の方のでは、現代の方のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、 製を備へてゐる者は飛ご 製紙加日 前借の構場は大艦客院さ は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

になってゐるものが十五名もある のに對し酸婦の借金のないものは 一人もゐない、又最も興味あるこ さは近頃それ等級酸婦な落籍する 四日よりの夏耕休暇を利用して日四日よりの夏耕休暇を利用して日 選拔教師講習 王道主義宣撫に

ために若人等は熱さ意氣、力に燃

忠靈塔盆祭

『奉天』十二日午前十時より忠鑑 管において腱かに忠霊塔忠祭が執 管において腱かに忠霊塔忠祭が執 管において腱かに忠霊塔忠祭が執

て既に二十六名發生も最近益々混乱の赤痢は今月に入っ 新患者が變見され大恐慌を験へ 患者續々發生

撫順の赤痢

| 事態以来急激に変して

奉天大東區に

大きない。 一般語言(三)同田岡蒙古(三)同山 東京行第十七弾車の二等膨盛で熟睡 京行第十七弾車の二等膨盛で熟睡 京行第十七弾車の二等膨盛で熟睡 京行第十七弾車の二等膨盛で熟睡 京行第十七弾車の二等膨盛で熟睡 京行第十七弾車の一次を計画力十 でおケット在中の理念合計百九十 でおケット在中の理念合計百九十 でおった。 にるここ一般画を何れる財布でるみ部域され たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画を回れる財布でるみ部域され たるここを動画解を過ぎて間もない たるここを動画を過ぎて間もない たることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にある。 たるここを動画を過ぎて間もない たることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にある。 たることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にあることが一般にある。 たることが一般にある。ことが一般にあることが一般にある。ことが一般にあることが一般にある。ことが一般にある。ことが一般にある 車の財布四個―奉天朝鮮銀行支店『鞍山』箱乗に攤された二等慰霊 **寢臺車を襲ふ** 列車魔煙の如く

花街だけは

不景氣知らず

廢業者每日二三人

満洲醫大だより

ても解月十萬國から十三萬國でい | 荷ほ鸚鵡所では次の適り三百五十春天附鸞地内料理店の鑿酸端だけ | 着一工 さるゝこさゝなつた

と 繊維料理店の 無機能の 内配は ごうかさいふき附 が主題の を検が こ百三十九名

計四百五十六名でその前僧は極妙酸癖が百十七名(内地人のみ)合

端に最高千四百圓、最低三百圓、

は対象的の左の勝智能を行ふここ。 を表すりの大連第一中學校教諭河野 (季工) 南諸教育研究所鈴木定 であつたが諸範側でも敷島小學校 文(音樂)率天永田彰男(博物) 分校を設立するここに決定した機・大連第一中學校教諭河野 (據で校舎並に設備は兵工紙で轄続) 伊三郎 (郷土教育) 第一師範學 する器

三人組建盗 [無順] 五二十一級な強奪逃走した、目下和市場監督入し現金二十一個市工十分無順千金楽堂一十一級大学、一十一個市場南門外の福振茶舗に三人組工を表現の一個大学、一個大学、一個大学、一個大学、

正 八點對九九點にて見事撫順軍優勝 野順さの並射試合を舉行したが一一 大學の遠征弓軍を迎へ五日午後四 新時より撫順道場においてオール撫 新時より撫順道場においてオール 無順軍・優勝 【無順】京城

男女生殖器 涵 此項ハヤる ジャンケンのよび方 前調御情投放元核学關專学県 明証御妨府生先和《土博学医 **贾里**原 の頭痛にパーシンの 月やくの御手當は……
日本くの御手當は……
は繁艶です。それには赤い 間悪験を接みを機嫌から世形を凝いて居ります 本園の一般で、上記の先生が御盗班になりを繋が、登して下さる服み易い、安心して服ふることが出来る皮質を響するめいたしま S. V パイナップル チョコレー

奉天驛の改造『高の大奉天都市 れるのである、像葉は三十萬郷二ホームの暗除が懸されこ

貌四十四百萬一第

其の表支勵

行るか?それは壁に移り線な現一変本来の正道に復讐したものさ見 着端間を繰上りてあつて、窓間のきはめてあます。が何故的地が「飛道に足が職込んだ徹衣が軽び徹」ふのはその名の記すやうに入浴のきにめてあます。 元来徹表さい

湯上りの存在再認識

で、繋び窓間のふだん者さして被な近代人の電好に合はなくなった。 な変れないさころから遠々自由報じ を変れないさころから遠々自由報じ がな近代人の電好に合はなくなった。

浴衣

流行線上に返咲く

のではいます。なほ然ミルーの色の白い方でもたちドギツイ物。一番織らいものですから或るべくで、上のでは、中道の生。 先づお顔の色が黙黙でせう、で顔。 方もありますが此の反對色趣定がでれてゐますから、十二 が至十 あれば間違ひです、何さいつても よつては洋服の反對色を選ばれる。 年になる方があるやうですが、 い色合でも似合ひます、お焼みにの長されては、けまておいては、けまては、は、まつには、一番組らいものですから或るべくが、 い色合でも似合ひます、お焼みにの長されては、けまでは、 ら申上げますさよく洋服の色を標 た標準になさいます

とりである。 出してバタバタを鍵を叩いた、誤恋庭な鰹の細が描いてあったので、フエモニストの多いたので、フエモニストの多いたので、フエモニストの多いためで、フエモニストの多いためである。

でかるさ片栗粉さ同じやうな手腕がいつたは色かして、つまんですが、つたは色かして、つまんであるが、

Я

から くなつて居りますから、赤らやん サルチール壁二グラムを選ぜ、織った に時々果社を襲へるのを認れの ふるひにかけます。液しらすの粗酸 には時々果社を襲へるのを認れの ふるひにかけます。液しらすを喰いた でに叩きつけてあるのをよく見まれる。 は飲みを含み、これを使用して でに叩きつけてあるのをよく見まれる。 は飲みを含み、これを使用して でに叩きつけてあるのをよく見まれる。 は飲みを含み、これを使用して でに叩きつけてあるのをよく見まれる。 でく間や自に称が入らぬやうに潜って、 たろしい 「活知らず」は酸化黴四 意して使はなければなりません。 ちゃがた 満宿本六十グラム、澱

とは、これにセラチン く解かに掛けるのです。 とは、これにセラチン く解かに掛けるのです。 なる。これで異の軽く払いて置く、次いで、 なる。これで其中にネクタイを窓し蓋をし、でアイロンをかける、残論なったるべいで、 で契節のやうな艦にペンジンを入 でアイロンをかける、残論なったるべいで、 なる、のひざい部分をエーテルかペン ネーズであへたもの。 なる、これにセラチン く解かに掛けるのです。

七

玍

力. 和

常識講座 選擇の秘訣公開

出なくなる

モダン・襟飾

問

日本女性の龜

鑑

ダーク・アラウン系統で標路きつしたらコメルト、ダーク・スカイ を はましかますが、何か然果的な 常に苦しみますが、何か然果的な なり事 に苦しみますが、何か然果的な なりま

本のは骨の機能に触ばがあるか 変がは心臓性の障碍に基くもの でおいられます、先ろ使胃が があるか でおいられます、先ろ使胃が があるか でおいられます、先ろ使胃が があるか でおいるのは骨の機能に であるか でおいるのは であるか でおいるのは であるか であるか であるか であるか であるか であるか であるか であるか であるが であるか であるが 薄荷水七・○蒸溜水一○○・○ を三岐に分けて食前に吸用されるのも一法でせう、強心難ら娩に分けて食前に吸用されるのも一法でせう、強心難ら娩が、又は食蠟水を用されるのし効果があります(土井 軍曹三・〇苦い丁幾一・五

A写こまべるさ、パリパリらて酒味によつてちがふが、まづ三十分 れるが、あれた糠味噌に入れ、陽 の肴にはもつでこいです

か選ばれた講です、かういふだい。 (薬) でなければ患ふやうに表現。 出来ませんし、髪の管明りにおり 出来ませんし、髪の管明りにおり。 外出や訪問なごに闘々しく着て出りの者物ですから地質も肌ざは、一大にないのではないのです、海上りの者物ですから地質も肌ざは、大臓な自由ではない感じのもの一大臓な自由では、大臓な自由では、大臓な自由では、 連れて、サラリさして完味明し分, に概や絽の浴衣地な後ぎ、しかも 値頭で

着さしては勿論でなした訪問にも 概ボイルさかいふものが出現して 収来、影響さしての――殊に外出 しての浴衣地は驚めな存在に お洗着のが分科さ、不能 一般を手でいていること

斯う して一部前までの浴

ふものは全くの湯上りで

海上りさしての住在な中に動するとなり、無び浴衣本来の――町ち

をはいったもの、ふだん者でしても藍の香物さしては黒つほい本上でしても藍の香の高い紺地の瓦斯さしても藍の香の高い紺地の瓦斯があった。

ボレオン 性に書き續げたれよ」

を する は できる からのだった。からのだった。からのだった。からのだった。からのだった。からのだった。からのだった。からのだった。から、一角に對すたのであい、一角に對する。

文…ある意味において実端 は「残酷」にイコオルである。 は「残酷」にイコオルである。 は「残酷」にイコオルである。 やつたしさか、なんざかいひ

はいてゐた。しかも其足の町。 ノー・ストッキングさしかみ

さんは、これは様ごうみても

色里

に十四、五人はあつたさうで

日

尖端。

PMM

せんが、朧さつた寒氣の短びがするのは良くない品です。次に続きれば生や乳のやうに早く磨吹られば生や乳のやうに早く磨吹らなず、乳癬酸が減緩されてぬますが、離の口を開けてからは、矢が

お求めになるさき何 ます一色が凌黒くてガッチリさした方で

があるのでせう 胃か心臓に障碍

奥さまの手帳

東處で始めて汎歐羅巴同盟を發表したのです。多數の人がこれに共 もたのです。多數の人がこれに共 を発さ各國に支部が出來て、イ

を の趣味があり大学の哲学科を出た
あがれて二十九歳の時にはウキン大学の哲学科を出た
なの趣味があり大学の哲学科を出た
ないました
ない

地を持つて居ります、次男は文學で今チェッコスロバキヤに大きな土

長男は親の後を承げて 依女には七人の子

日本の大使

第二のラグーザお玉

切さグリンピースをまぜ、鹽、胡牛乳を加へて火にかけ、ハムの郷 洗った芋を皮のまりふかし、先の さがつたナイフで、 じやがいも 椒で味をつけ、前のじやがいもに りぬきます。その層をつぶして スタッフド・ポテト

※リスのロード・セシル等は汎歐 ではアラーグの日本公使館に鉱めてて居ます、四男は警撃を撃んであるて居ます、四男は警撃を撃んであるではアラーグの日本公使館に鉱めてて居ます、四男は警撃を撃んである。 「何しろ長男が十二、三歳の時に

それさ

さなっては、オース

氣苦勢がある

あっても日本の女の

女は慰護士事物所に

白うりの糠味噌

して肥かな餘生を送つてゐます、「た母親の節」

話をする社会事業に携 で職れて家出して來た娘

和洋菓子ご喫茶の店喜久屋

西痛。セロシン電影の日本機楽局

庭 御 で

木村毅氏を繞る座談會・9 意志と努力・ク伯夫人の半生 出記の花は場中傑出せているのであり如き純桃派(ヒュー 日本さオーストリーが顧同士であってす、日本が外側に送り出した女性の中でも一で喰い方だらうさ、 一般のます、ラグーザお玉さんさは 思います、ラグーザお玉さんさは 思います、ラグーザお玉さんさは 思います。ラグーザお玉さんさは うり、今後の氏を語るものであら

るものであっ

性に敬意を表し慰めて 木村氏

日本によっても親戚も牙って居って居って死の強いなで なである事を忘れてはな 豊太后陛下から 一般なけるれな一般中 を大きれないがあって、 三枕買って彼女に贈 がなんかがあった。 ではそれな一般中 くのを築しみにして居 聽いてゐました。 に不便だ、此書は、 と、支那人との交 と、大郎人との交

純良コ 一 と ー が

品 は

受驗生必携 輝することができます と乗快になり無も落ち と乗りに設めてきます

飲料用 調味用

今年も賣行第一位! 御贈答用に 寶酒造株式會社

中元暑中の

新鮮な果實から 森永グレープジュース 精浄な健康美へ 75 御 20 森永デリシャ 色を良くします ujčk

のが特徴ですが變念な事に楠のよれは皺にならないのき持ちのよい

いさいへばネクタイの構造行は世

のがありますが男の方にはごうし

るのが安全でせう、

安全でせう、よく単色のしない。

一様な一合の鑑満で溶き順でこして、これを落吹てタイの裏から吹て、これを落吹てタイの裏から吹

夏のご家庭での

亦ちやん用品

です、これはタイは必ず限色を をです、これはタイは必ず限色を をです、これはタイは必ず限色を

の洪水に載された満洲では、繪畵の本道に進する良心すら失はれんさしてに對する良心すら失はれんさして、よくの進場にあつて、よく

職に失敗して居る、桃は立際版 一時ご思はれる林、花のある風景に 一時ご思はれる林、花のある風景に 一時ご思はれる林、花のある風景に 一時ご思はれる林、花のある風景に 一時ご思はれる林、花のある風景に

者だ、今度の出品三點は、完成を米谷氏は巨匠ルオーの正しき認識

た如く自然の探求へ進ん

期待されるが何れも

後多の愚劣機まりなき酸品的繪書

ールを想起す

るに充分である。

第四回 五果會展覽會

長評三郎、

藝

見て以來遊版を見せ三十號風景は見て以來遊版を見せ三十號風景は

何慮かキリコの「詩人の出發」に

る候館の機能法能器成り充分考へ職人。夜中の一時に等める、から

の作品に三好弘光氏の國

粉ミルク鑑別法ご汗しらず

お母さま方の知識

バールはイミテーションでも総構 ルのタイピンを差す事、だも此の パールはイミテーションでも総構

地心である五果會の仕事は、彼等 本得るだけ客観的に批評が出来れ 本得るだけ客観的に批評が出来れ

市・村氏の作は成功。

レテリズムには触き足が、 な描寫なして居たが、 な描寫なして居たが、

日でない。 は一世が氏はツトに中央に於て二路、 境野氏は大作他数點出品して居る が氏はツトに中央に於て二路、獨 が氏はツトに中央に於て二路、獨 が氏はツトに中央に於て二路、獨 が氏はツトに中央に於て二路、獨

家庭洗濯法

先づ活ン

(四)



MK

牧

野富太

柄巧無比な原色版印刷 質物そのま」を見る如き

兌發 近刊 東京市神田區錦町一丁目

文

堂

問現

西

發十

時際增圍 園

空登

海水浴用品

9

各種バンド

年青。種

榮次

Progress

盆栽上花

牧野博士畢世の大著成る本邦植物學界の至實たる 自由分

古代理店の特徴 本剤にて永年の病害より教はれ、感像 の能り同病治を教みため特別店になった方のみにても其数質に一千軒を超過 た方のみにても其数質に一千軒を超過 たて良い。

整復《三日华分 零円 十三日分 五円

元委委 松一并 濟 民 堂 製 曠 町 織関係直方市原町

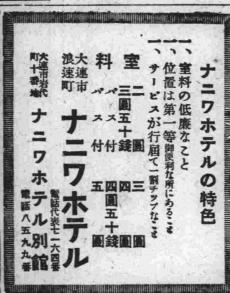
送料各世一錢 **取新**藥



BLACK CAT さ を 征服するには

石





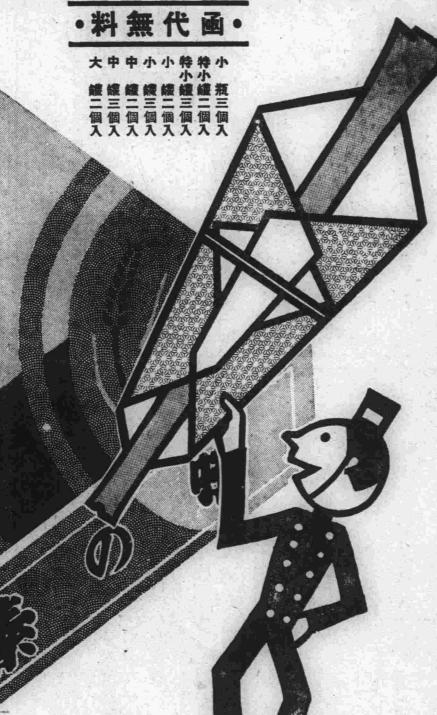


00





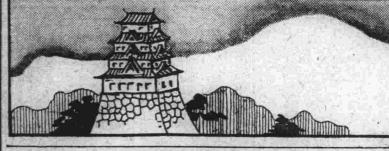
必ず役に 値段手項 立つて な御中元



宮内省御用蓮 味の本舗 設鈴 木商店

病の

効療防と



强 後 派

病



奏



儿一步E·福

表示市浪速展列三丁目 大阪市浪速展列三丁目 大阪市浪速展列三丁目

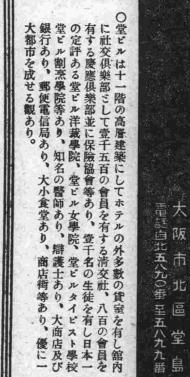
五

店

治療劑の最高權威

行斷賣投大の典辭





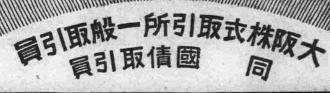
〇大阪驛に近く阪神、阪急、京阪亦近も 〇二十四間の幹線に面し、バスの外 路面地下の二電鐵あり交通極めて便なり



有 價 會株 証 社式 券 大株一般取引員 金 賣 買 田 金 田 商 辰 藏店 店商介銷上滿至



海豚の命は白椿 髪の命は白椿 大阪 心系稿



店商楠辻





幸役

日本棋院春季上

手合戰譜

支先

夫 果小 七田杉

大幸 九雄丁

ヌリゴメトウノ

ニ ホンガケ(卓球) 卓球のバットを打球面側に食 増さ中指を二本掛をする持方のこと

- 野球その他で用ふ

です、大衆版には今日本の野港は一株こさを云ふのですか……。

すか、 脂體日本職様の様式で搬送さればいな行き方なするのちゃないで 大連(A E O A K) **午前の部 ・三** (A E O A K)

例へば現在の議會制度ですが日本

が聴取できぬか

意院 醫學博士 森本辩之 大連市大山通三越降り 咽喉科 ノドノ 電話五三七0 ビョウキ

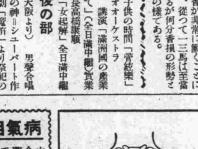


が行物を対している。

怪奇實話

奇





談相氣病

剤と併用すれば早~良くなる 弱を元氣にするリキシンを本



■醫藥及注射藥を併用差支へなし 痛み、苦しみを去る。 神經痛・胃けいれん

カスレを良くす。しを襲め。呼吸や樂にし・聲のたんを切り。せき・ヒユーヒユ



振等を治療し病体を健康にす。 はれ及水氣・肩のコリ・食慾不 はれ及水氣・肩のコリ・食慾不 はれ及水気・肩のコリ・食慾不 ぜん息・せき

◆肺·肋膜·氣管支

マッ 个津佛理博·發見の新良藥 から 番

熱・たん・せき・息切れを良く

す

神經痛 には 愈々發賣!! こき時代意識の胎動は茲に!! 前景氣沸騰、

臺室々次代文化への装甲列車・待望の新人號!新 來り掬せよ、

ら大阪市大仁本町三今津化學研究所へ申込饒、五十日分十圓で全國藥店に有。品切な藥價は十日分二圓四十錢、卅日分六圓五十 究研学化島兒康 ◆ 没 見 の 群 一 久 松 一 兵 一 查 政策 で甲斐。問題 拉陌 風 ◇日濟 ◇臺灣統治の現段階(米澤商学や死活線に鳴く蘭鮮) 題の行方(柳基斗) 台鮮からの叫び!! で董なんせんすー で かんせんすー 園 賣

4年肉と文明…芝邦太郎

のかがとはいる。

≎金 イヌ女の

錢浮 く流人の氣骸、用意や周到。 問 答高

の崩壊を たるり 性原 (渡邊利太郎)

0

大•五 肺

(可認物便郵種三第)

ての機運を作るか

職業チーム組織案

【面局の迄成角七五は圖】

一葉に貴壁がないさ云ふ観念が深い なり力なんかは何でも野球が観ま ってから三十年もたゝない中に出 で、この監はアメリカなんか職と でも野球が観ま

▲八 三 飛

ア火山征服 アヴァチ火山にかく 最近同地方のシドロカムチャッカのベトロバヴロコースクの北方にあり高さ二千七百二十米、今も盛に火を喰いてゐる

大阪より) 義太夫(大

見多分類談

*史上人物の死因…… た男 (異山 つゆのころほひ・福田栗 葉の道・導入

…石 上 樹 人

悲様・ポントノ文之介

即日賣切の虞あり即刻書店へ!!

オール新人の意

2 ん息・



結局、日下中村兩局長を招じ

悲談會開

催に決定

口保護者會

三河方面

考古學者

集まる世界學界の瞳

番乗り

大した事なし

六日旅順入港

ーリング暗殺?

片腕

武力清黨の犠牲か

ング氏)

方案が決定せられる。 諸果により第二段の 節婦表彰式

製は來る九日午前十時より同公製 会職室にて確総、癥師酬離鄉の表 会職室にて確総、癥師酬離鄉の表

動車

の速度を

東に向つた

電話二九〇二

哩以内に改正

人は失業、妻子は病氣

■ 本社見學(七日) 校長趙
本社見學(七日) 校長趙

関では依然連

首勝者、駐在外國領事等二百餘 逆して居るさ

入連署から

意見

禀申

◆野球…▼立教大學對滿俱野球第一回戰午後三時より滿俱球場で一般上競技…▼第一回大連陸上競技器手權大會兼老童競技大會午後一時より大連連動場で 場場式…▼黒石礁滿躍水泳場開場、午後一時より大連連動場で

何卒一層御利用下さいますよう番號索引をはぶくため屋號と同一の番號を架設しました

電新話設

三三七三

大連磐城町電話四

電

話

設

内鮮滿の連帶輸送 理乃至二十五盟で實際上スピード 大連市内の自動車速力は現在二十

に一同はルーフに出て園遊会にう

三新艇進水式 運動會漕艇部

濱北線不通

七月十日から實施

仕復二割、團體大割引

・ 本本に変異の ・ 本本に変異的近の路盤崩れ不通 ・ 本本に変異的近の路盤崩れ不通 ・ ない七日中には復奮の見込みだ でない七日中には復奮の見込みだ でないた日参属通過・薬雨のた

高端運動を清整部では部島の地加 本・大日これが完成したので午後四時 より海町艇庫に於いて山端清端理 ・大田の艇名は飛の上右三新艇の命名式 ・大田の艇名は黒龍、松花、岡門で を激水式さな場合した。 一大路の艇名は黒龍、松花、岡門で 大田の板名は黒龍、松花、岡門で 大田の板名は黒龍、松花、岡門で 大田の板名は黒龍、松花、岡門で 大田の板名は黒龍、松花、岡門で 百三十萬元 通遼の水害

ボットン六日装図通』全英庭球選手ルドン六日装図通』全英庭球選手帳大会、六日の男子シングル決勝様大会、六日の男子シングル決勝様大会、六日の男子シングル決勝様で英のベリーはストレートで漆

をのま、仔猴が一本立ちになる をのま、仔猴が一本立ちになる

等においてやり、折角の<u>厳密は</u>

ー四名は既に死亡

(季天特電七日韓)通波線下にお 総天地にもて繋下の三分の二以上 総天地にもて繋下の三分の二以上

石富士號安東へ [孝子] 石橋皇軍監問の社会 石橋皇軍監問の社会 (英) (大) 三川のコオー

明けて六日は前日一遍し姿を見明けて六日は前日一遍し姿を見れなかった親独君が舞の関って来て一杯のウドンにすつかり安心したものか、仔猫の東世をピ

東二村(駅城西方六十浦南への電話によれば通道)通波駅公

商店協會役員會 店員慰安なごを決定 の野旅院上競技殿は六日午後三時 2高橋(同)3號上派東亞同交達院野浦鐵鐵道工場 ◆走高跳 1森田上派東亞同交達院野浦鐵鐵道工場 ●走高跳 1森田 同文書院敗る 運動不足を 對工場陸上戰 青訓體超 青訓歌を件奏 三氏苦 が、工場軍終始優 が、工場軍終始優 補ふ 保生る 勝つ、戦績左の 然にて三四・五 に潑剌たるもの

心の賜・大好評

出しての賑ひに場内はごったか 滿員の盛況、その上解漢までこび

▲優勝戦

中の里へつり出とし常

常昇◆「下手投げ」◆松ノ里

大の里」 (大の里」 (大の里」 (大の里) (大の里)

三日目取組

単に勝つ(寫真は天龍)がけんさするも逆に天龍上手投がけんさするも天龍巧みに逃れ簡が死さなるも天龍巧みに逃れ簡が死さなるも天龍立みに逃れ

最中の御 乾菓子 こおらが 餅 東京風生干謹製ばんぎ 銀床裝置莨寫 類置具計具機 身時器真 ぎや 大連 洋

夏。食慾不振

> 龍○〈上手投げ〉▲大和錦 ではおりたい世市のからでは、アンド市であったのでは 京都保養院 常進 五 清 みどろケ池山腹





王型 り元ク概語用品般 打栓 **丸**物洋行 章22813卷

夕バコ



タバコセット 語 詰 タパコケース イプ類 集各

洋莨 洋酒 食料 和洋 百貨 中元御贈答品は 暑中贈答品・夏の飲料品陳列會 Ŧ ・ 関語に取揃へて居ります で御援定下さい 夏の贈物に相應じい手頃の品を 名樣常盤座御招待

•一六一五壺 •

はいては七月十日より奉天新義 はいては七月十日より奉天新義 はつた 毎日奉天養 午前六時 新義州着 同七時十分 なほ新義州、奉天間のダイヤは従 【奉天特電七日發】滿洲航空會社 航空時間變更奉天新義州間 「ヤアッ」さいつたま、検立ちる棚の戸を何線なく開いた一人 を棚の戸を何線なく開いた一人 になってこ 事も一應だっ 世 報のばらい仕

そこには昨日今日生れたばかり の仔猴が五匹ばかりニャー/ の仔猴が五匹ばかりニャー/ で鳴き行らガメイてぬたので すつかり喜んだ連中、親雄の居 ないのを等ひに伴の戸を開けた ないのを等ひに伴の戸を開けた

夏 大連星ヶ浦 屋會 海を眺めて (食事は安價) 浦

日 電話九八九四番

0



十三

らアマチュア用カメラト 精極めて精緻而も取扱ひ カットフキルム兼用の最

スとして實に理想的の 扱ひは至つて簡單です の最新型優秀カメラで スキルムバック、乾垢

のすで板、

コンパーシャター

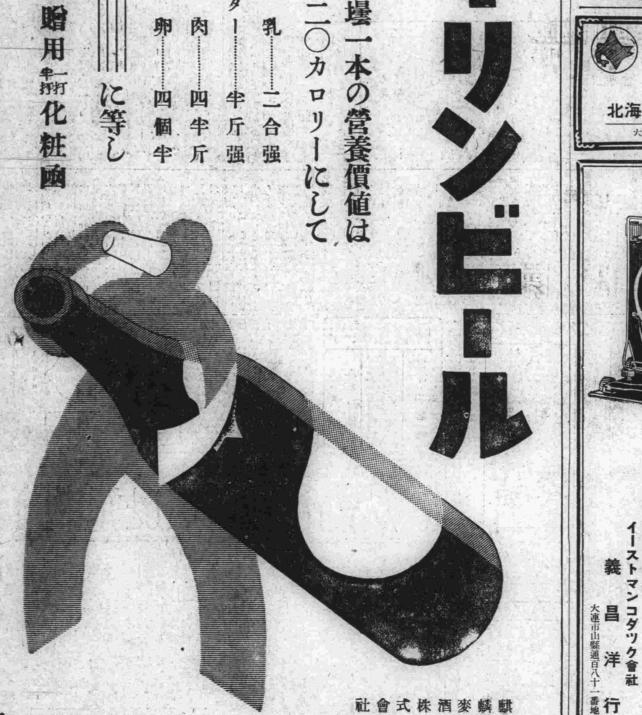
各種共蛇腹二段伸

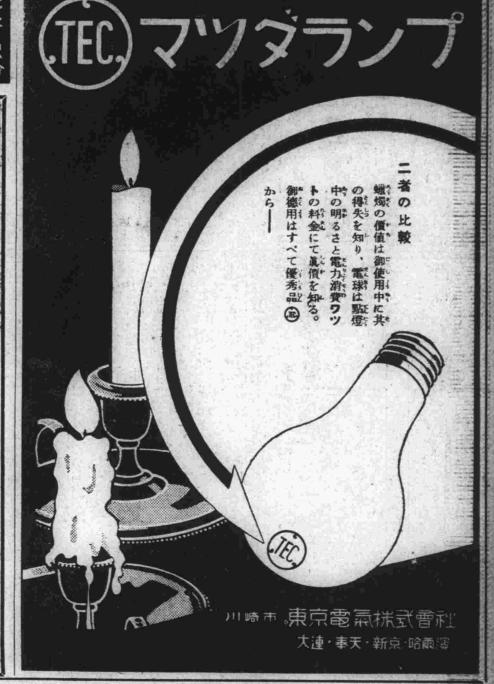
コンパーシャター コンパーシャター 號號

手名 札剌

型型

(240 × 340) (340 × 440)





t

謎って

バタ、クリー:

畫夜撮影

に拘らず御用命願と

品

仕立京吳服卸

壽護造製薬膏の確的能効

伊

大連市伊勢町二十一

電響 局

すで全が高薬るあ用信は薬

繁殖四部 さかい本店

九

場合は、さう易々さは行かなかった場合ならわからねこさはない、たまうなもので、手近なこさなられまうなもので、手近なこさなられまうなもので、手近なこさならい。

間が、こちらに運動な開始して来ふものは、お耳に突渉のある人間と、焼へば最も総近してゐる人間

家さは違い

「行動に御座いましたので御座地震は、更に戦か落とた。「矢服り郊殿で養見したのでや」

愛悶の扉

「離上するんちゃ」

人ちゃ」

云ふこさなの

事務の員

電話八二〇三番

PQ

五一二共商會

蒸餾水は毎日採館シで居

ます

(=+)

氏

亨

作

B

九四七〇番

京新京

本事治

化婦

粧 品 場 品 場

ホーテ五五ルニの経番番

船

(182)